

## 第5章 地域別計画

本章では、区内を7つの地域に分け、それぞれの地域について、地域の特性を踏まえたみどりの取組方針や生物多様性の確保の方針を示します。

なお、地域別計画策定にあたっては、関連する計画と整合を図ります。

各地域を構成する町丁目は、以下の通りです。



表 各地域を構成する町丁目

地域		地域の構成
1	小松川・平井地域	小松川一丁目から四丁目、平井一丁目から七丁目
2	中央地域	中央一丁目から四丁目、松島一丁目から四丁目、松江一丁目から七丁目、東小松川一丁目から四丁目、西小松川町、大杉一丁目から五丁目、西一之江一丁目から四丁目、春江町四丁目、上一色一丁目から三丁目、本一色一丁目から三丁目、一之江一丁目から八丁目、西瑞江四丁目一番地から二番地・十番地から二十七番地、江戸川四丁目十五番地から二十五番地、松本一丁目・二丁目、興宮町
3	葛西地域(北部)	春江町五丁目、西瑞江五丁目、江戸川五丁目・六丁目、一之江町、二之江町、船堀一丁目から七丁目、宇喜田町、東葛西一丁目から三丁目、西葛西一丁目、中葛西一丁目から二丁目、北葛西一丁目から五丁目
4	葛西地域(南部)	東葛西四丁目から九丁目、西葛西二丁目から八丁目、中葛西三丁目から八丁目、南葛西一丁目から七丁目、清新町一丁目・二丁目、臨海町一丁目から六丁目、堀江町
5	小岩地域	東小岩一丁目から六丁目、西小岩一丁目から五丁目、南小岩一丁目から八丁目、北小岩一丁目から八丁目
6	鹿骨地域	新堀一丁目・二丁目、春江町一丁目、谷河内一丁目、鹿骨町、鹿骨一丁目から六丁目、上篠崎一丁目から四丁目、篠崎町一丁目・二丁目・七丁目・八丁目、西篠崎一丁目・二丁目、北篠崎一丁目・二丁目、東松本一丁目・二丁目
7	東部地域	春江町二丁目・三丁目、東瑞江一丁目から三丁目、西瑞江三丁目・四丁目五番地から九番地、江戸川一丁目から三丁目・四丁目一番地から十四番地、谷河内二丁目、下篠崎町、篠崎町三丁目から六丁目、南篠崎町一丁目から五丁目、東篠崎町、東篠崎一丁目・二丁目、瑞江一丁目から四丁目

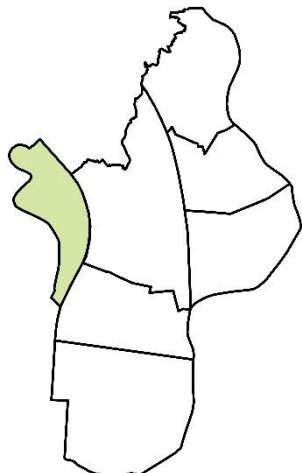
# 1. 小松川・平井地域

## (1) 地域の概況

### ① 地域の成り立ち

小松川・平井地域は、区の西端に位置し、江東区、墨田区、葛飾区と隣接した、荒川・中川と旧中川に囲まれた地域です。

明治時代に平井駅が開業し、大正時代には耕地整理事業\*により基盤整備や工場立地が進み、昭和初期には平井駅周辺に商店街が形成されました。戦後は区外へ工場が移転し、住宅開発が活性化するようになり、住宅が密集する市街地へと変わりました。小松川地区では、市街地再開発事業により、大規模な住宅団地や大島小松川公園が整備されました。平井地区は、早くに商業が発展した地区であり建築物の老朽化などが進んでいますが、補助第120号線や公共インフラ整備、駅前地区での共同建替えなどが実施されました。また、地域内には、平井聖天や平井の渡し、荒川ロックゲート、寺社集積など、歴史を感じる資源が点在し、約1,000本の桜(小松川千本桜)が植栽された荒川の河川景観や、自然に配慮して整備された旧中川の自然環境、道路整備に合わせて植栽された街路樹など、みどりが豊富に整備されています。



現在は、平井駅周辺において、商業の活性化や新たなにぎわいの創出に向けたまちづくりが進展しています。

### ② 人口・世帯

人口は、平成31(2019)年までは微増の傾向にありましたが、その後減少に転じ、令和5(2023)年には55,732人となっています。ピークの57,764人から約2,000人減少しています。

世帯数は、令和4(2022)年はやや減少に転じましたが、全体的には増加傾向にあり、令和5(2023)年には29,147世帯となっています。

みどりの面積は、平成28(2016)年に164.2ha、令和3(2021)年に161.9haとやや減少しています。

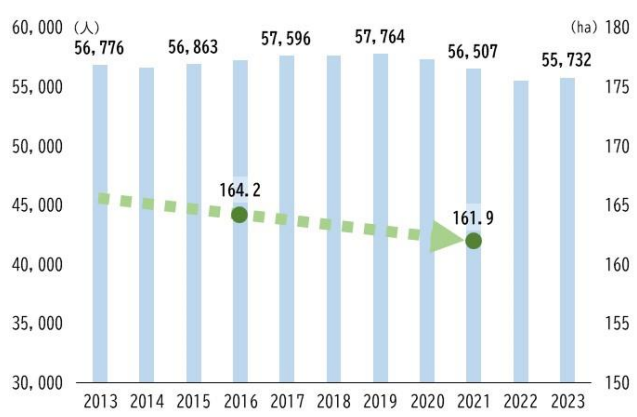


図 小松川・平井地域の人口推移とみどりの面積(ha)

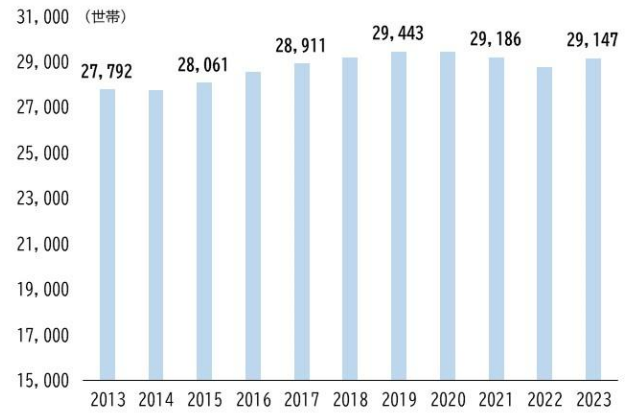


図 小松川・平井地域の世帯数推移



### ③ 土地利用

- 市街地再開発事業によって整備された小松川地区では、集合住宅を中心とした土地利用となっています。
- 平井地区は独立住宅が中心の土地利用となっており、中小規模の工場も点在しています。
- 旧中川沿線は、大規模な工場が点在し、住工が共存する土地利用となっています。



図 土地利用(小松川・平井地域)  
(令和3(2021)年度区部土地利用現況調査)



#### ④ みどりの現状

- 小松川地区には大島小松川公園などの大規模な公園が整備されており、平井地区には小規模な公園が点在しています。
- 荒川右岸全域には公園・運動場など、旧中川左岸の一部には原野・森林(葦原)が広がっており、みどりのオープンスペースが豊かなエリアとなっています。
- 本地域には39園の公園があり、このうち1,000㎡未満の公園は21園(53.8%)、1,000以上2,500㎡未満の公園は7園(17.9%)、2,500㎡以上の公園は11園(28.2%)となっています。
- 本地域のみどりの目標に対する現状は以下のとおりです。

指 標	現状値
地域のみどり率	44.7%
区民一人あたりの公園面積(陸域)	7.6m <sup>2</sup>
身近な公園の充足率	94.4%

※ みどり率は平成30(2018)年の数値を使用



図 みどりの状況(小松川・平井地域)



## (2) これまでの取組

年	主な取組
明治 32(1899)年	総武鉄道(現 J R 総武線)平井駅開業
昭和 6 (1931)年	荒川放水路開削工事竣工
昭和 47(1972)年	小松川運動公園開園
昭和 53(1978)年	都営新宿線東大島駅開業
昭和 55(1980)年	平井運動公園開園 亀戸・大島・小松川地区の市街地再開発事業に着手(完了)
平成 2 (1990)年	小松川地区の高規格堤防整備着手(完了)
平成 9 (1997)年	大島小松川公園開園 平井七丁目地区の高規格堤防整備着手(完了)
平成 15(2003)年	小松川千本桜完成 下平井水辺の楽校登録
平成 17(2005)年	荒川ロックゲート完成
平成 23(2011)年	旧中川の護岸整備が完了
平成 30(2018)年	旧中川のカヌー体験教室開催
令和 3 (2021)年	旧中川カヌーツーリング開催

## (3) 魅力と課題

## ① 魅力

## 【豊かな水辺とみどり】

- 小松川・平井地域は、河川に囲まれ、大規模な河川緑地が広がっており、豊かな水辺とみどりに囲まれた地域となっています。
- 荒川の高規格堤防上の広場には、小松川千本桜が整備され、桜以外にも四季折々の花々が楽しめる植栽がされています。さらに、「小松川千本桜を愛する会」をはじめ、市民団体による活動が活発になっています。
- 市街地再開発事業によって新しいまちなみとなったエリアなどでは、街路樹や敷地内への植栽など、豊かなみどりが計画的に配置されています。
- 本地域は、荒川・中川と旧中川の貴重な水辺空間に囲まれていることや、大規模な公園整備、まちづくりと一体となったみどりの整備などがなされていることから、エコロジカルネットワークが形成され、旧中川ではカワセミの営巣が確認されるなど貴重な生物種が生息しています。河川敷やビオトープでは、そのような生きものと触れ合うことも可能です。

## 【スポーツ・レクリエーション】

- 大島小松川公園は、旧中川・荒川との一体性により、地域住民にうるおいや安らぎを与えるとともに、スポーツ・レクリエーションを楽しめる空間となっています。
- 平井運動公園・小松川運動公園は荒川河川敷を活かして整備された公園であり、野球場や少年サッカー場、ソフトボール場などがあり、自然の中でスポーツを楽しむ環境が整っています。
- 旧中川は護岸整備により親水性が向上し、近年は旧中川ボートフェスティバルやカヌー体験教室が開催されるなど、水辺利用によるにぎわいが創出されています。

**【魅力ある歴史資源】**

- 平井地区は、古くにまちが形成されたため、旧道や寺社など多くの歴史資源があります。そのような歴史資源とみどりが融合した、地域ならではの景観がみられます。

**② 課題**

**【都市基盤整備、防災への配慮】**

- 小松川地区は、市街地再開発事業により、大規模公園や水辺空間などが整備されていますが、特に平井地区の密集市街地では、小規模な公園などは点在しているものの、十分なオープンスペースが確保できていない状況です。また、細街路の多い既成市街地では、まちづくりに合わせて、防災の視点からグリーンインフラなどによるみどりの充実が必要です。
- 平井駅周辺は、地区の拠点としてにぎわいの創出が求められるとともに、駅前にふさわしいオープンスペースやみどりの確保を進める必要があります。



平井駅北口



平井親和会商店街

**【多様な生物種の保全】**

- 地域内には大規模公園や河川緑地があるものの、まちなかには生物多様性拠点となるような場所が少ない状況です。また、多様な生物種が確認されているものの、外来種も多いことから、ウラギクなど、現在確認されている重要種や貴重な在来種を守っていくことが必要です。



小松川千本桜



旧中川

#### (4) 地域の将来像と方針

##### ① 将来像

### 新旧のまちを大河川に咲く桜が繋ぐ水辺豊かなまち

##### ② 方針

#### ◆都市基盤を活かした水とみどりのネットワーク拡充

- 平井地区では、まちづくりに合わせて、防災に寄与するみどりを充実させます。また、駅周辺は地域のみどりの拠点・地域の玄関口として魅力的なみどりの景観形成を進め、にぎわいを創出します。
- 蔵前橋通り、京葉道路、ゆりのき橋通りなど、幹線道路の街路樹を活かしたみどりのネットワーク整備を推進します。
- 旧道や寺社などの多くの歴史資源とみどりを融合させた環境づくりを進めます。

#### ◆公園の有効活用

- 大島小松川公園をみどりの拠点と位置づけ、地域住民のレクリエーションの場や、生物多様性拠点としての拡充を図ります。
- 平井公園や小松川ゆきやなぎ公園など比較的規模の大きな公園は、ボランティア活動やイベント会場となるなどコミュニティ拠点としての役割を担っています。また、「小松川千本桜を愛する会」などの団体と、引き続き協働していきます。今後もこれらの拠点を中心として、地域全体にみどりの運動を広げていきます。

#### ◆河川や公園を活用した生物多様性の保全

- 荒川・中川、旧中川、補助第 120 号線をエコロジカルネットワーク、大島小松川公園を生物多様性拠点として位置づけ、エリア特性に応じた生物多様性の保全を行います。
- 身近な公園の整備を行う際は、まちなかの生物多様性拠点となるように配慮し、整備を推進します。
- 自然に配慮して整備された旧中川では自然環境が再生されており、引き続き保全・育成していきます。
- 荒川河川敷では、干潟や葦原あしはらなど自然環境保全を引き続き行っていきます。また、下平井水辺の楽校や専門職大学など、自然環境保全とともに環境学習の場として活用できる拠点を拡充していき、意識啓発などに努めます。

#### ◆豊かな水辺空間を活かした環境づくり

- 荒川河川敷などの豊かな水辺空間では、スポーツやレクリエーション機能の充実や河川景観の向上を図ります。
- 水辺空間の活用として、旧中川ではカヌー体験教室が開催されています。このような取組を拡大させ、水辺に親しめる機会を充実させていきます。



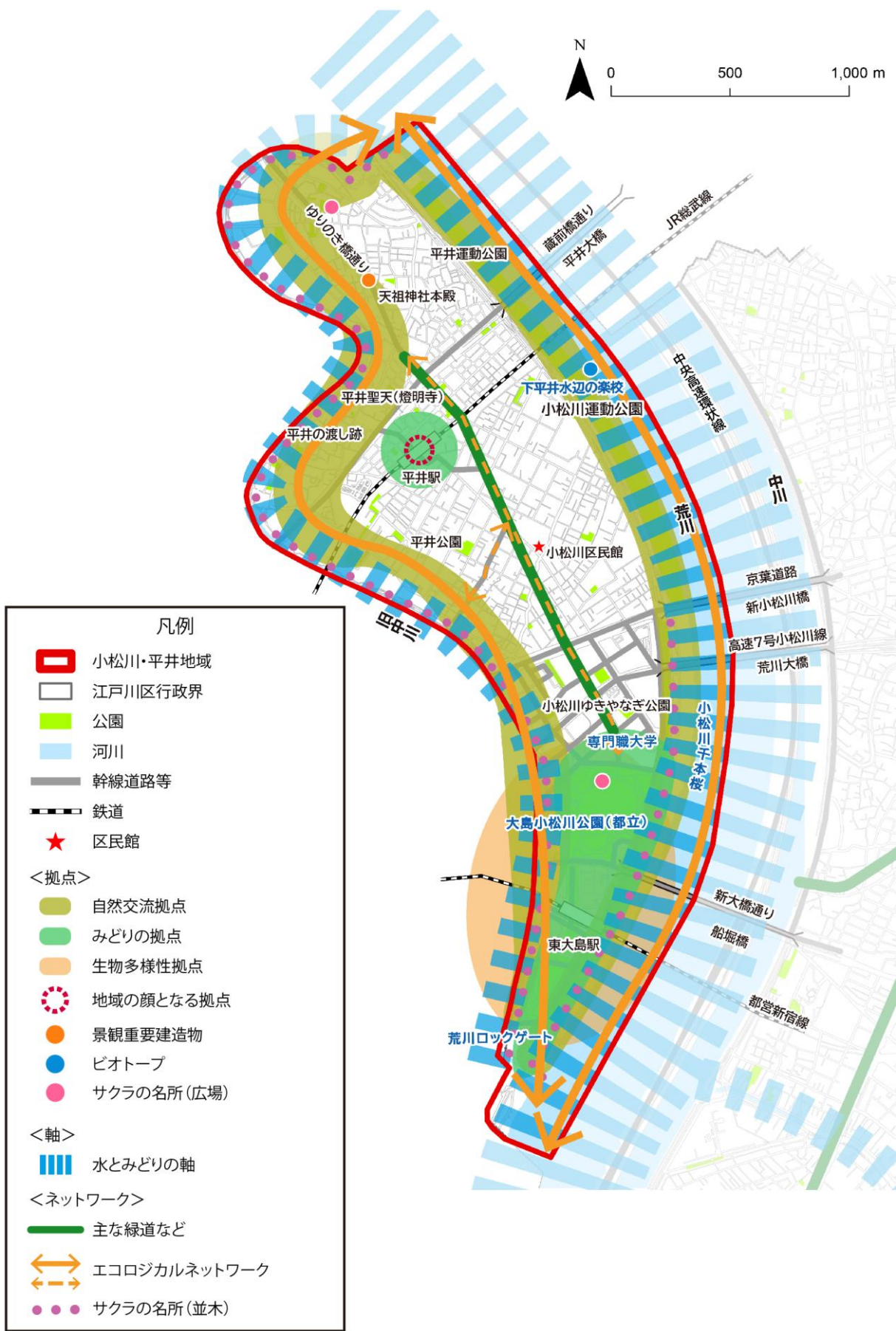


図 みどりと生物多様性の方針図(小松川・平井地域)

## 2. 中央地域

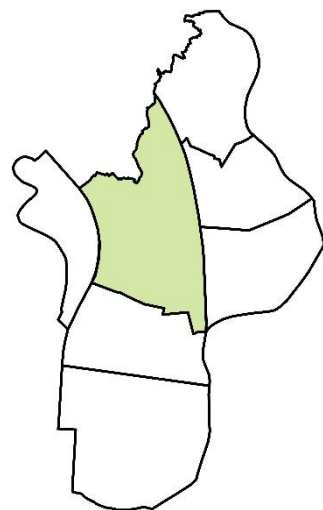
### (1) 地域の概況

#### ① 地域の成り立ち

中央地域は、区の中央に位置し、葛飾区と隣接した、荒川・中川と新中川に囲まれた新大橋通り以北の区域です。

昭和23(1948)年に区役所が小松川から中央地域に移転したことで行政拠点となり、グリーンパレス、総合文化センター、中央図書館などの文化施設が充実したまちとなっています。また、昭和50年代に下水道の普及が進み、親水公園が整備されたことにより、住環境の改善が図られました。昭和60年代には交通基盤や駅前広場の整備などが進展し、交通利便性も大きく向上しています。親水公園をはじめとした豊かな水辺空間、農地などの貴重な自然資源を有しています。

今後は、文化施設の集積や親水公園などの水辺環境を活かしながら、住環境の更なる魅力向上を図ります。



#### ② 人口・世帯

人口は、平成31(2019)年までは増加傾向にありましたが、その後減少に転じ、令和5(2023)年には137,781人となっています。ピークの141,121人から約3,300人減少しています。

世帯数は、増加傾向にあり、令和5(2023)年には67,942世帯となっています。

みどりの面積は、平成28(2016)年に174.5ha、令和3(2021)年に171.8haと減少しています。

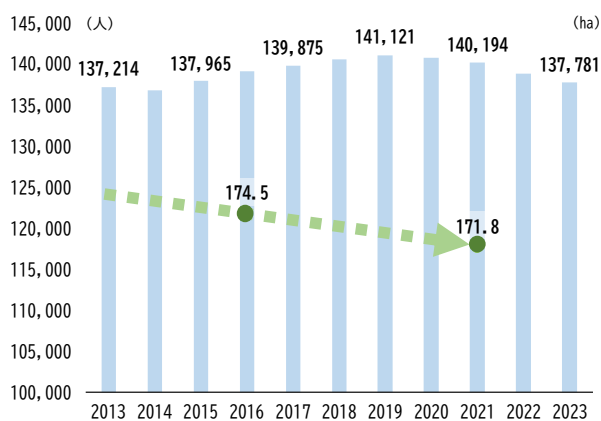


図 中央地域の人口推移と  
みどりの面積(ha)

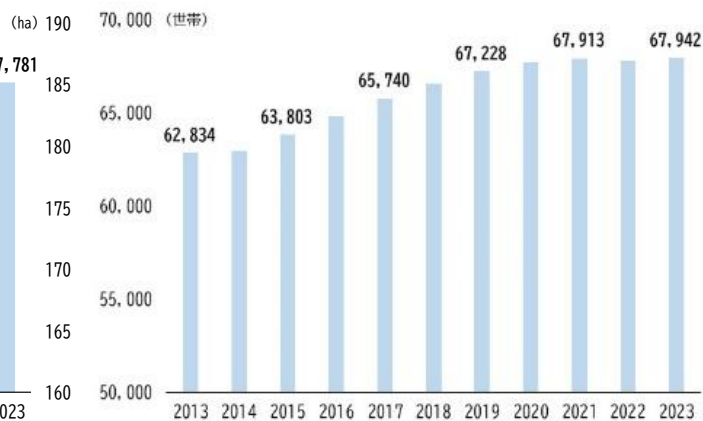


図 中央地域の世帯数推移



### ③ 土地利用

- 地域全体として独立住宅や集合住宅が多く、住宅、商業、工場、事業所などが混在した土地利用となっています。
- 地域の中央部である中央、松江、西一之江では工場の集積が見られます。
- 上一色、本一色、興宮町、松本、大杉、一之江などの環七通り周辺は、独立住宅が中心の土地利用となっており、一部で不整形な街区が見られます。



図 土地利用(中央地域)  
(令和3(2021)年度区部土地利用現況調査)



④ みどりの現状

- 南北に親水公園が整備され、まちなかには身近な公園がバランスよく整備されています。
- 戸建ての住宅地の中に農地が点在しています。
- 本地域には 138 園の公園があり、このうち 1,000 m<sup>2</sup>未満の公園は 75 園(54.3%)、1,000 以上 2,500 m<sup>2</sup>未満の公園は 46 園(33.3%)、2,500 m<sup>2</sup>以上の公園は 17 園(12.3%)となっています。一人あたり公園面積は7地域で一番少ない状況です。
- 本地域のみどりの目標に対する現状は以下のとおりです。

指 標	現状値
地域のみどり率	24.2%
区民一人あたりの公園面積(陸域)	1.9m <sup>2</sup>
身近な公園の充足率	95.0%

※ みどり率は平成30(2018)年の数値を使用

※ 一之江境川親水公園は中央地域と葛西地域(北部)にまたがっているため、園数は両地域において1園ずつ、面積は分割して計上

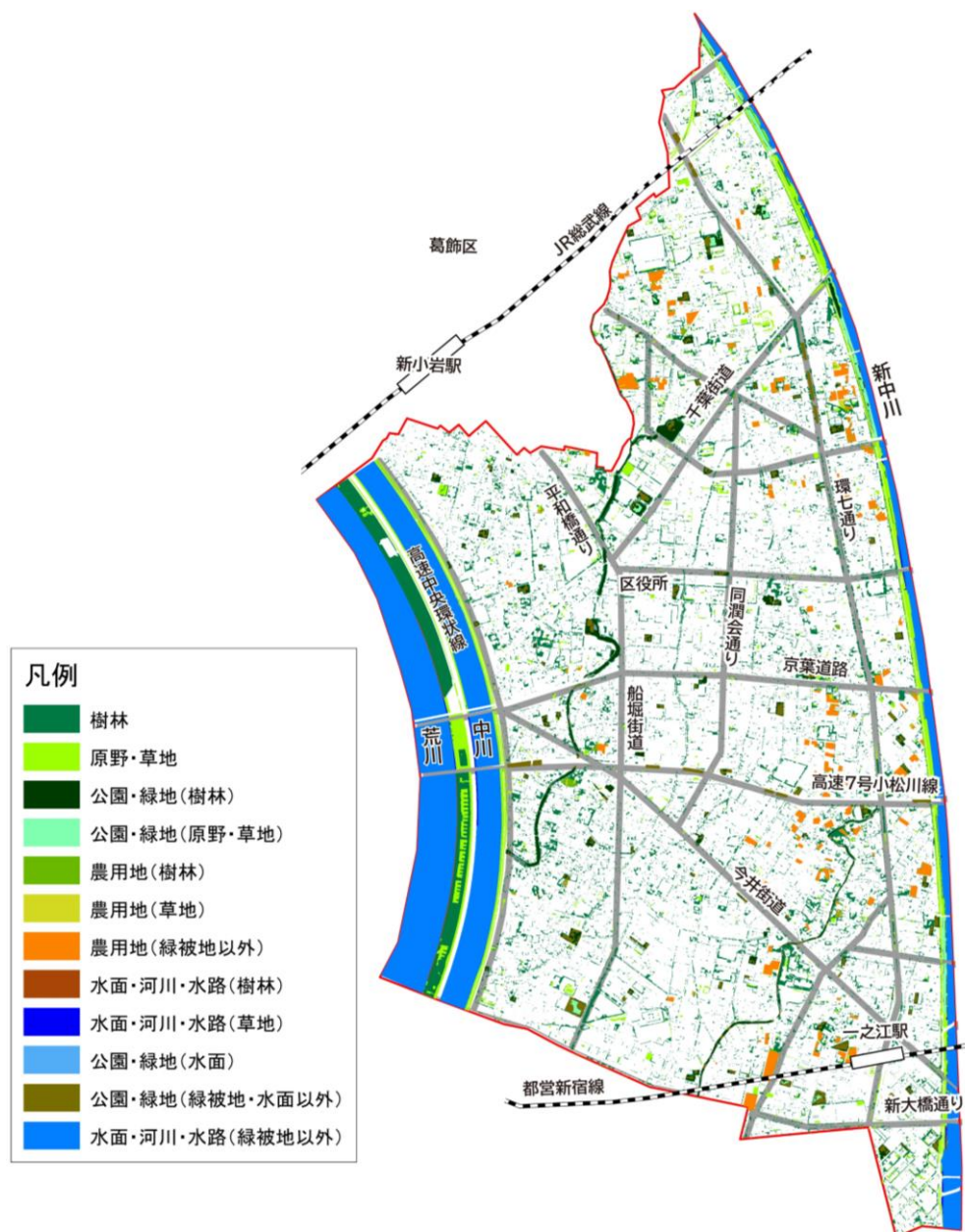


図 みどりの状況(中央地域)

## (2) これまでの取組

年	主な取組
昭和 6 (1931)年	中川放水路(中川)開通
昭和 37(1962)年	区役所新庁舎(現庁舎)落成
昭和 38(1963)年	新中川放水路(新中川)開通
昭和 49(1974)年	「親水公園を愛する会」順次結成
昭和 57(1982)年	小松川境川親水公園順次開園
昭和 60(1985)年	小松川境川親水公園完成
昭和 61(1986)年	都営新宿線一之江駅開業
平成 4 (1992)年	仲井堀親水緑道完成
平成 8 (1996)年	一之江境川親水公園完成
平成 18(2006)年	一之江境川親水公園沿線景観地区指定
平成 22(2010)年	一之江抹香亭開園
平成 24(2012)年	かんたんの里開園

## (3) 魅力と課題

### ① 魅力

#### 【うるおいある親水公園】

- 小松川境川親水公園、一之江境川親水公園は水とみどりのネットワークを形成し、親水公園沿いのみどりにより四季を感じることができる空間になっています。また、一之江境川親水公園沿線は、全国初の景観地区に指定され、親水公園だけでなく、周辺と一体となった景観形成を促進しています。
- 親水公園の一部や原さくら通りなどには桜が植栽され、桜の名所と呼ばれるエリアが点在しています。

#### 【生物多様性拠点】

- まちなかには親水公園や親水緑道が整備されていることから、豊かな生物多様性ネットワークが形成されています。
- 荒川・中川と新中川に挟まれており、荒川と中川の間の中堤には多くの自然地が残り、新中川には多自然型護岸が多く整備されています。
- 「かんたんの里」のはらっぱや「一之江ひだまり公園」の雨水貯留槽の雨水を活かした池など、生物の生息環境に配慮した空間整備がされていることから、小さな生物多様性拠点が点在し、中央森林公園では日本最小のタカである「ツミ」の繁殖が確認されました。
- 一之江境川親水公園では、魚や昆虫、水生植物が生息できるように、新中川から取水し、水深や川底に工夫をしています。

**【地域コミュニティ】**

- 寺社や農地が集積し、歴史とみどり、農とみどりが調和したまちなみが形成されています。
- 文化施設が集積しており、これらの施設は地域の歴史や農業文化、みどりや生物多様性に触れ合うことができる場として、活用されています。
- 地域住民により、「親水公園を愛する会」が結成されており、各種イベントの開催、自然観察会、清掃などを実施しています。



中央地域まつり



小松川境川親水公園

**② 課題****【河川における親水空間の整備・拡充】**

- 荒川と中川の間の中堤は、自然地が多く存在し身近に自然と親しむことのできる環境が充実しています。しかし、市街地からは河川越えなければアクセスできない環境にあるため地域住民の日常的な利用は少ない状況になっています。

**【防災性向上に資する新たなみどり空間の確保】**

- 駅周辺などでは、土地区画整理事業により都市基盤が整備され、良好な住環境やみどり環境が形成されています。一方で、木造住宅が密集している地域も多く、そのような地域ではみどりが少なくなっています。また、地域全体として、公園は小規模のものが多く、規模の大きな公園が不足しています。

**【農地の保全】**

- 生産緑地、宅地化農地がともに減少を続ける中で、地域に点在する貴重な農地を保全するための取組が必要です。特に生産緑地は、地区指定後 30 年が経過すると指定解除が可能となるため、これらの農地を保全するため特定生産緑地への指定推進や、都市農地貸借円滑化法に基づく農地の貸借など様々な対策が求められます。



## (4) 地域の将来像と方針

### ① 将来像

#### 親水公園のせせらぎと地域活力にあふれたまち

### ② 方針

#### ◆幹線道路を活用したエコロジカルネットワークの形成

- 幹線道路の多くは荒川・中川、新中川や親水公園に繋がるため、アクセス環境の改善とあわせてエコロジカルネットワークの形成を意識し、生物の生息空間となるような街路樹整備を促進します。

#### ◆親水公園を軸としたみどりのまちづくり・生態系の保全

- 地域を縦断するように2つの親水公園が整備され、特徴的な空間が形成されています。親水公園を水とみどりの生活軸と位置づけ、親水性や豊富なみどりの空間を拡充するとともに、エコロジカルネットワークの形成にも力を入れていきます。
- 「親水公園を愛する会」などの区民団体と連携し、みどりのまちづくりや生態系の保全を図ります。
- 「かんとんの里」や「一之江ひだまり公園」などの小さな生物多様性拠点を活用し、講習会や生物観察会を行います。

#### ◆密集住宅市街地整備促進事業などのまちづくりに合わせた新たなみどりの創出

- 密集住宅市街地整備促進事業などのまちづくりに合わせ、公園の整備・拡充や街路樹、生垣などの新たなみどりの創出を図ります。
- より規模の大きい公園を充実させるため、既存公園に隣接する土地の取得など、機会をとらえた整備を進めます。

#### ◆点在する農地の保全・活用

- 地域の北部や東部には農地が多いエリアが点在しています。生産緑地指定の計画的な誘導、宅地化農地の保全、営農支援や農地の貸借など、農地を減少させないための取組を進めていきます。

#### ◆集積する文化施設を活用した歴史やみどりの情報発信

- 中央地域には、総合文化センターや郷土資料館などの公共施設、一之江抹香亭、松本弁天、香取神社などの歴史文化施設が集積しています。これらの施設を活用し、本区の歴史やみどりについて情報発信するなど、区民のみどりに対する関心向上を図ります。

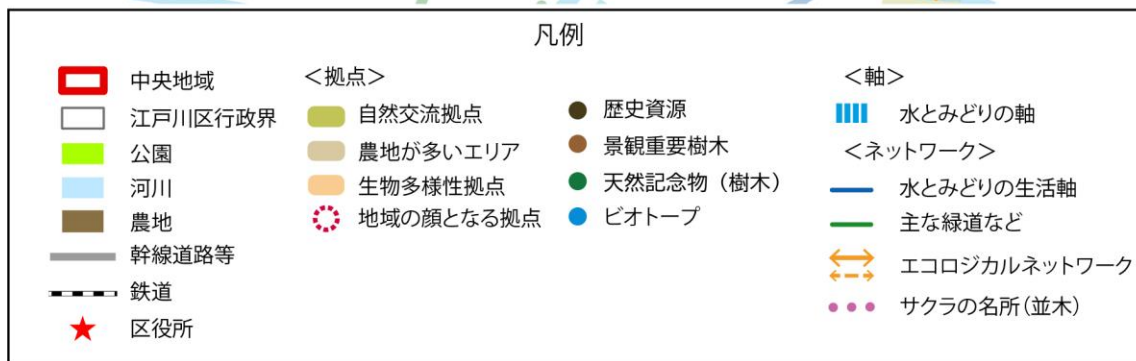


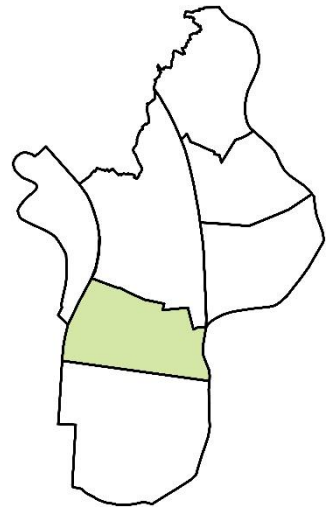
図 みどりと生物多様性の方針図(中央地域)

### 3. 葛西地域(北部)

#### (1) 地域の概況

##### ① 地域の成り立ち

葛西地域(北部)は、区の中央に位置し、江東区、浦安市、市川市と隣接した、荒川・中川と旧江戸川に囲まれた葛西橋通り以北、新大橋通り以南の地域です。



昭和30年代までの人々の生活は農業と漁業が中心であり、水田と蓮田が広がる田園地帯でした。昭和40年代からは、東西線の開通や都営新宿線の船堀駅開業、全国初の親水公園となる古川親水公園の整備などにより、交通利便性や住環境が向上し、まちが発展していきました。平成に入ると、新川では江戸情緒ある河川空間づくりなどが始まり、地域独自の景観形成が行われてきました。また、荒川・中川と旧江戸川の川沿いや、多世代が楽しめる宇喜田公園・行船公園など、多種多様なみどりのオープンスペースがみられます。

今後は、船堀駅周辺への庁舎建設に伴い、みどりあふれる新たなにぎわいの創出に向けたまちづくりを進めていきます。

##### ② 人口・世帯

人口は、令和2(2020)年までは毎年増加していましたが、その後減少に転じ、令和5(2023)年には90,978人となっています。ピークの92,552人から約1,500人減少しています。

世帯数は、令和4(2022)年はやや減少に転じましたが、全体的には増加傾向にあり、令和5(2023)年には45,399世帯となっています。

みどりの面積は、平成28(2016)年に137.1ha、令和3(2021)年に136.6haとやや減少しています。

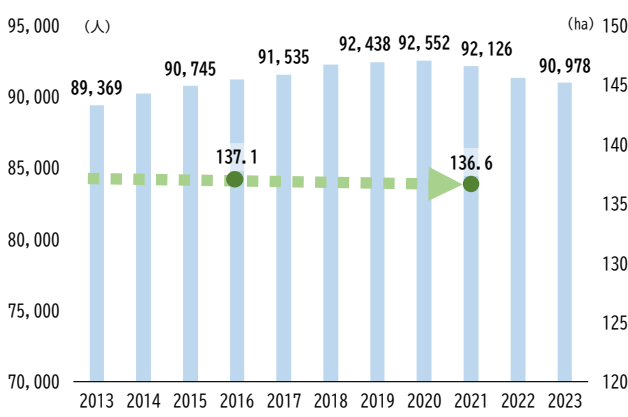


図 葛西地域(北部)の人口推移とみどりの面積(ha)

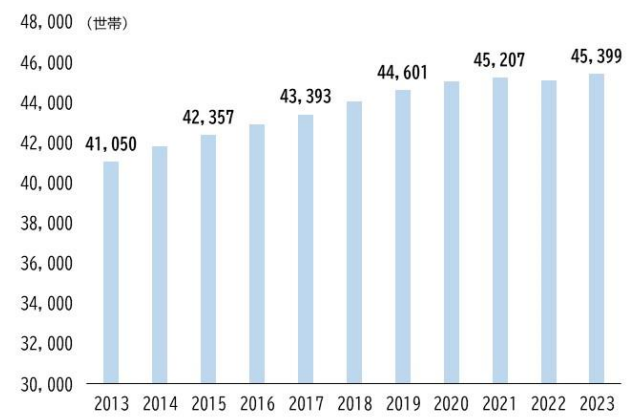
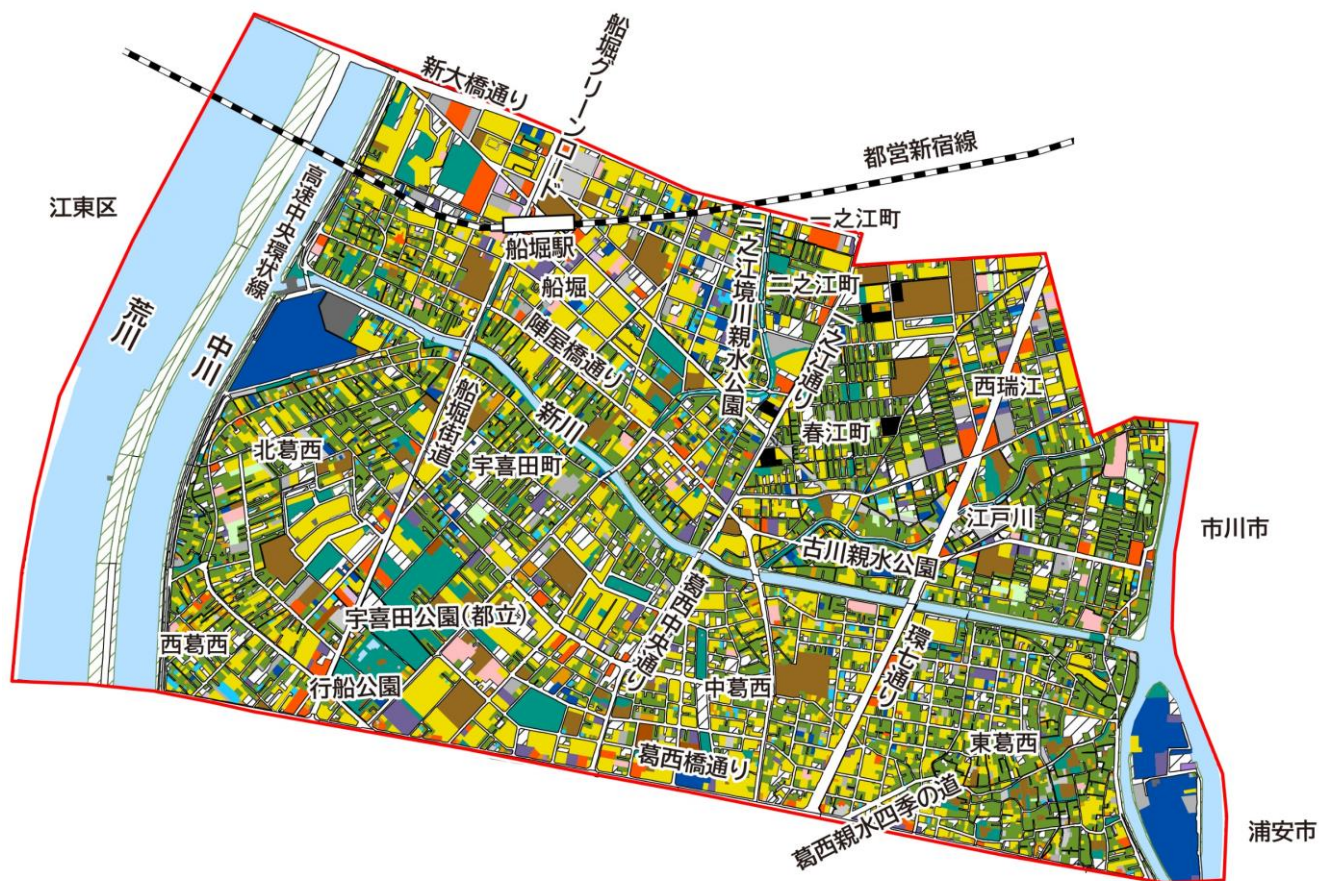


図 葛西地域(北部)の世帯数推移



### ③ 土地利用

- 地域全体として、独立住宅と集合住宅が共存する土地利用となっており、一部エリアに大規模な工場や住居併用工場が共存する土地利用もみられます。
- 船堀駅周辺は、商業、集合住宅が混在する土地利用となっています。
- 北葛西一丁目や妙見島では、大規模な工場などが立地し、産業的土地利用が中心となっています。



凡例					
	官公庁施設		スポーツ・興行施設		公園・運動場等
	教育文化施設		独立住宅		未利用地等
	厚生医療施設		集合住宅		道路
	供給処理施設		専用工場		畑
	事務所建築物		住居併用工場		樹園地
	専用商業施設		倉庫運輸関係施設		水面・河川・道路
	住商併用建物		農林漁業施設		原野・森林
	宿泊・遊興施設		屋外利用地・仮設建物		その他

図 土地利用(葛西地域(北部))  
(令和3(2021)年度区部土地利用現況調査)

④ みどりの現状

- 宇喜田公園をはじめとして、大規模～小規模な公園・運動場などが点在しています。
- 荒川・中川、旧江戸川や新川の川沿いや、親水公園(古川親水公園、一之江境川親水公園)、宇喜田公園や行船公園など多世代が楽しめるみどりが整備されています。
- 本地域には61園の公園があり、このうち1,000㎡未満の公園は33園(54.1%)、1,000以上2,500㎡未満の公園は14園(23.0%)、2,500㎡以上の公園は14園(23.0%)となっています。一人当たり公園面積は中央地域に次いで少ない状況です。
- 本地域のみどりの目標に対する現状は以下のとおりです。

指 標	現状値
地域のみどり率	30.2%
区民一人あたりの公園面積(陸域)	2.4m <sup>2</sup>
身近な公園の充足率	90.6%

※ みどり率は平成30(2018)年の数値を使用



凡例			
	樹林		水面・河川・水路(草地)
	原野・草地		公園・緑地(水面)
	公園・緑地(樹林)		農用地(緑被地以外)
	公園・緑地(原野・草地)		水面・河川・水路(樹林)
	農用地(樹林)		公園・緑地(緑被地・水面以外)
	農用地(草地)		水面・河川・水路(緑被地以外)

図 みどりの状況(葛西地域(北部))



## (2) これまでの取組

年	主な取組
昭和6(1931)年	中川放水路(中川)開通
昭和25(1950)年	行船公園開園
昭和49(1974)年	古川親水公園完成
昭和58(1983)年	都営新宿線船堀駅開業
平成元(1989)年	行船公園に平成庭園・源心庵落成 葛西親水四季の道完成
平成4(1992)年	新川の護岸工事・耐震工事に着手
平成8(1996)年	一之江境川親水公園完成
平成14(2002)年	宇喜田公園開園
平成18(2006)年	一之江境川親水公園沿線景観地区指定
平成23(2011)年	古川親水公園沿線景観地区指定
平成25(2013)年	新川の護岸の耐震化・遊歩道整備完了、新川さくら館開館
平成27(2015)年	新川千本桜完成

## (3) 魅力と課題

## ① 魅力

## 【江戸情緒ある河川空間】

- 新川沿川や親水公園などは、江戸情緒あふれる空間やみどりにより四季を感じることができ空間が整備されており、地域らしい景観が形成されています。また、古川親水公園沿川や寺社が集積する東葛西地区は、地域の魅力である歴史資源が残っており、古川親水公園沿線を景観地区に指定し、親水公園だけでなく、周辺と一体となった景観形成を促進しています。
- 町会・自治会が中心となって、古川親水公園の清掃活動などが実施されています。

## 【水とみどりに親しめる空間】

- 本地域は、荒川・中川及び旧江戸川の大河川に囲まれ、まちなかを流れる新川は水とみどりのネットワークを形成しています。各河川沿いは護岸整備などが進み、散策やサイクリングなどが楽しめる、豊かな親水空間が形成されています。
- 地域住民や地域団体の交流拠点となる、新川さくら館が整備され、イベントなどでにぎわいが生まれ、地域コミュニティの育成などにも繋がっています。

## 【多様な機能を持つ宇喜田公園・行船公園】

- 宇喜田公園には、スポーツ・レクリエーションを楽しむことができる大規模な多目的広場や遊具広場があります。
- 行船公園には、自然動物園や日本庭園、水生池、釣り池などがあり、多世代が楽しめる大規模公園となっています。また、約 600 m<sup>2</sup>の水生池には葦やスイレンといった水生植物が生育し、アズマヒキガエルやギンヤンマなどのトンボ類が生息しており、カワセミの飛来も確認されています。また、公園内では在来種であるニホンミツバチの研究がされています。
- 本区は、戦後にかけて全国有数の金魚生産地となり、現在では養殖業者が減少したものの、その品質は日本のトップクラスを誇り、金魚のふるさと江戸川区と呼ばれ、行船公園では



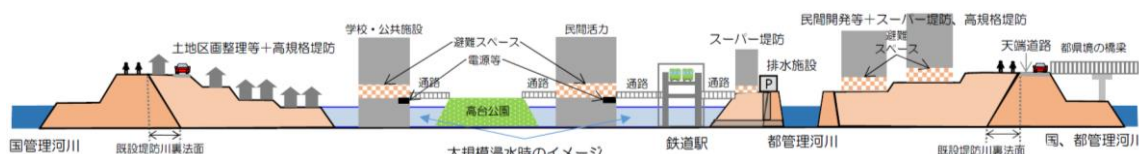
毎年「金魚まつり」が開催されるなど、金魚との触れ合いや歴史を伝える機会を提供しています。

【船堀駅前周辺地区のまちづくり】

- 船堀駅周辺地区では、令和 10(2028)年度、区役所本庁舎移転が予定されています。船堀駅前周辺地区は、本庁舎移転に合わせ、防災性が高く、みどりとにぎわいあふれるまちづくりを進めており、本区や地域の新たな拠点として整備されます。
- 令和 5 (2023)年 3 月には船堀駅前地区を対象に「船堀駅前地区高台まちづくり基本方針」を策定しており、大規模水害から住民の命を守るとともに、新たな時代を見据えた区を中心にふさわしい持続可能な拠点を形成し、まちの価値向上を図ることができる「高台まちづくり」を目指します。



新庁舎外観イメージ



高台まちづくりのイメージ

出典：災害に強い首都「東京」形成ビジョン【概要版】（令和2年12月）

② 課題

【歴史資源の活用】

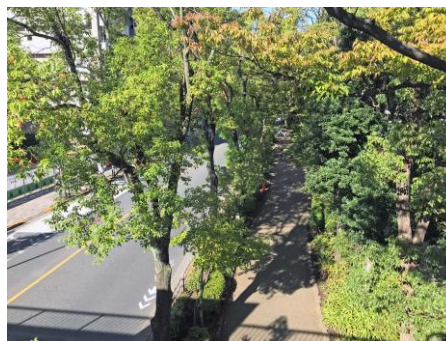
- 東葛西付近は、寺社が集積する特色ある景観を活かしながら、みどりやオープンスペースが適切に整備された住環境の改善を誘導していくことが求められます。

【多様な水・みどり空間の確保】

- 新川、古川親水公園、一之江境川親水公園、葛西親水四季の道や、船堀グリーンロードなどの整備は進められているものの、生物多様性の小さな拠点がやや少ない状況です。大規模公園だけでなく、小さな生物多様性拠点を整備していくことで、より生物に優しい環境にしていく必要があります。



古川親水公園



船堀グリーンロード

## (4) 地域の将来像と方針

### ① 将来像

江戸情緒あふれる河川の歴史・文化に新たな拠点が融合するまち

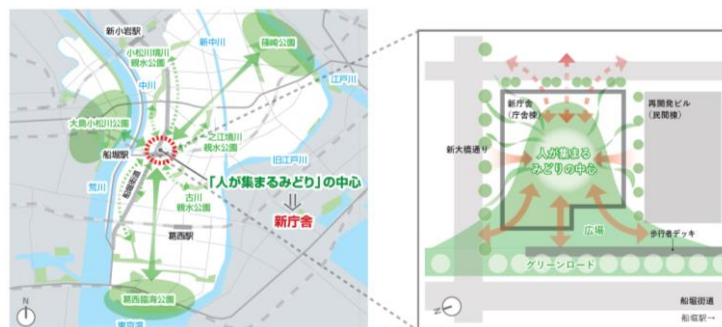
### ② 方針

#### ◆水とみどり、歴史を活かした環境づくり

- 新川沿いに整備されている江戸情緒あふれる空間や、地域に点在する寺社などの歴史資源を活かし、歴史とみどりが融合した環境づくりを進めていきます。

#### ◆良好な都市基盤を活かした水とみどりのネットワークの拡充

- 船堀駅周辺は、区役所本庁舎移転を契機に「高台まちづくり」を実施し、防災活動拠点を形成するとともに、地域のみどりの拠点および地域の玄関口に相応しい景観を形成します。
- みどり豊かな幹線道路を活用したエコロジカルネットワークの整備を推進します。
- 中央地域～葛西地域(北部)にまたがって船堀街道沿いに整備されている船堀グリーンロードでは四季折々の樹木によるみどりの景観形成を進めます。



新行舎周辺のみどりのイメージ

#### ◆水辺空間の利活用促進

- 新川や親水公園沿いは、桜並木や親水空間が整備されています。これらをより魅力的な空間として多くの人に利用してもらうために、新川さくら館の活用促進、地域団体との連携、イベントの開催などを促進していきます。

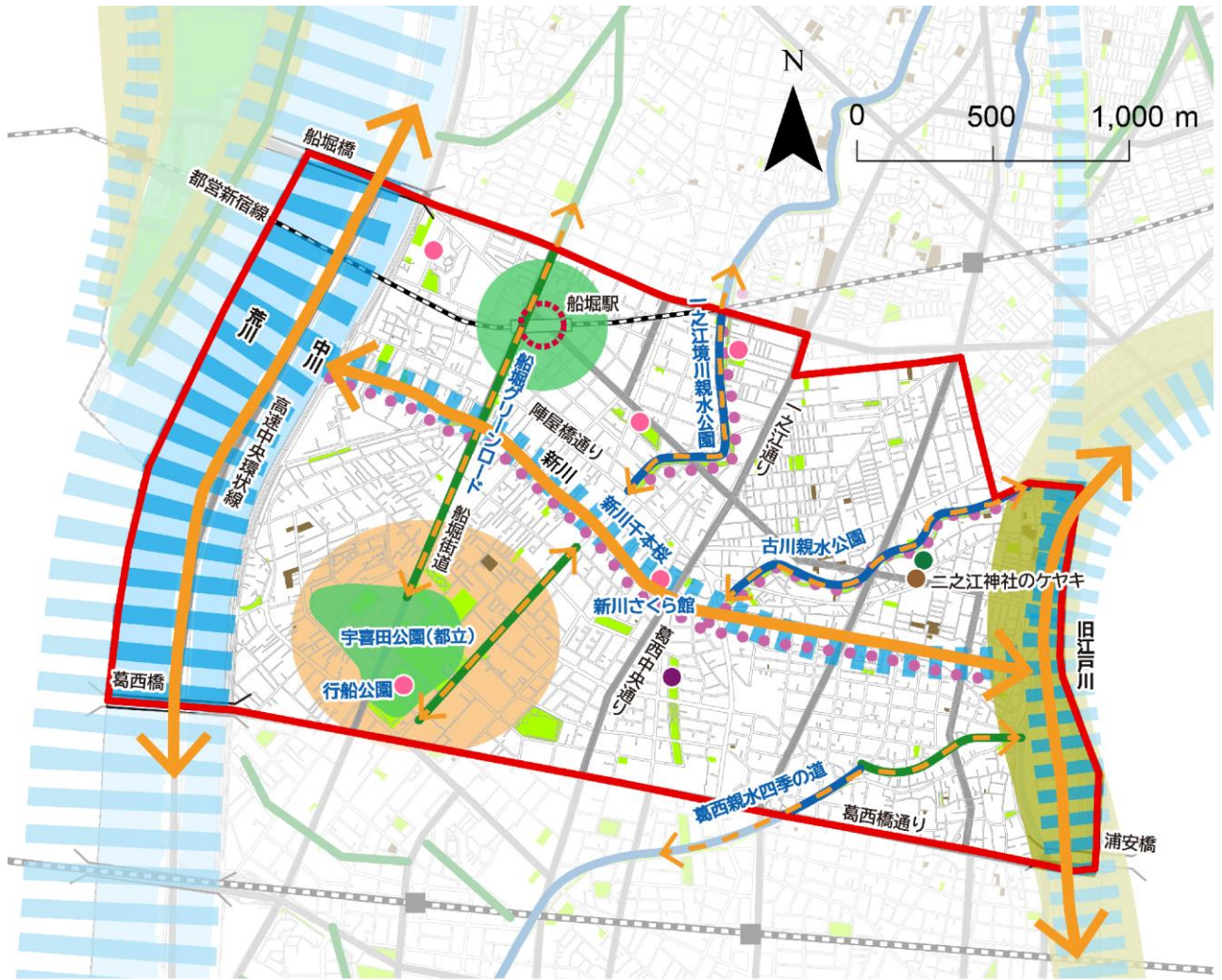
#### ◆生物多様性拠点の整備

- 宇喜田公園・行船公園をみどりの拠点及び生物多様性拠点と位置づけ、レクリエーションや憩いの場としての機能の拡充、生物の生息環境の拡充を図るとともに、船堀街道などの緑道とも隣接していることから、大規模な生物多様性拠点として周辺のネットワークを意識した整備を促進します。
- 小規模な生物多様性の拠点となる場所がやや少ないことから、生物の生息空間に配慮した公園整備を推進します。

#### ◆公園不足地域の解消、公園機能の充実

- 地域の東部には、公園が不足しているエリアが多くなっています。既存の公園機能の充実を図るとともに、まちづくりと合わせた新規公園の整備を進めていきます。
- 集積する寺社などの歴史資源を活かし、適切に公園やみどりのオープンスペースを確保していきます。





凡例	
<span style="border: 2px solid red; padding: 2px;"> </span> 葛西地域(北部)	<拠点>
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> 江戸川区行政界	<span style="background-color: #90EE90; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> 自然交流拠点
<span style="background-color: #90EE90; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> 公園	<span style="background-color: #90EE90; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> みどりの拠点
<span style="background-color: #ADD8E6; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> 河川	<span style="background-color: #FFDAB9; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> 生物多様性拠点
<span style="background-color: #8B4513; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> 農地	<span style="border: 2px dashed red; border-radius: 50%; padding: 2px;"> </span> 地域の顔となる拠点
<span style="border-bottom: 2px solid gray; width: 20px; display: inline-block;"></span> 幹線道路等	<span style="background-color: #8B4513; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;"> </span> 景観重要樹木
<span style="border-bottom: 2px dashed black; width: 20px; display: inline-block;"></span> 鉄道	<span style="background-color: #008000; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;"> </span> 天然記念物(樹木)
	<span style="background-color: #FFB6C1; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;"> </span> サクラの名所(広場)
	<span style="background-color: #800080; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;"> </span> その他の花の名所
	<軸>
	<span style="background-color: #ADD8E6; border: 1px solid black; padding: 2px;"> </span> 水とみどりの軸
	<ネットワーク>
	<span style="border-bottom: 2px solid blue; width: 20px; display: inline-block;"></span> 水とみどりの生活軸
	<span style="border-bottom: 2px solid green; width: 20px; display: inline-block;"></span> 主な緑道など
	<span style="border-bottom: 2px dashed orange; width: 20px; display: inline-block;"></span> エコロジカルネットワーク
	<span style="background-color: #FFB6C1; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;"> </span> サクラの名所(並木)

図 みどりと生物多様性の方針図(葛西地域(北部))



## 4. 葛西地域(南部)

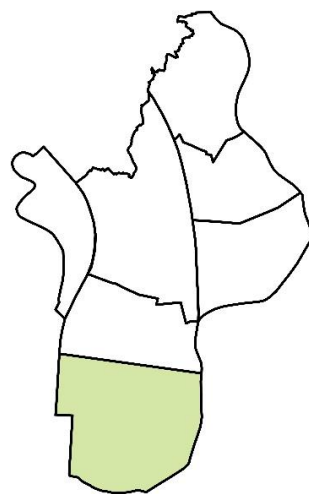
### (1) 地域の概況

#### ① 地域の成り立ち

葛西地域(南部)は、区の南端に位置し、江東区、浦安市と隣接しています。荒川・中川と旧江戸川に囲まれた葛西橋通り以南の区域であり、地域南端は東京湾に面しています。

昭和30年代までは農業や干潟を活かした海苔づくりなどが営まれていましたが、昭和40年代の東西線の開通以降、葛西橋通り以南の地域で土地区画整理事業が活発化し、昭和50年代に入ると集合住宅や大規模公園が整備され、良好な住環境をもつまちへと発展しました。昭和60年代以降は、葛西臨海公園駅の開業や葛西臨海公園・葛西海浜公園の開園により、臨海部には、多くの人を訪れる新たなレクリエーション空間が誕生しました。平成30(2018)年には、葛西海浜公園が東京都内で初めて「ラムサール条約湿地」として登録されました。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の会場として使用されたカヌー・スラロームセンターが水上スポーツのにぎわいを創出しています。



#### ② 人口・世帯

人口は、令和2(2020)年までは増加傾向にありましたが、その後減少に転じ、令和5(2023)年には162,341人となっています。ピークの164,130人から約2,000人減少しています。

世帯数は、令和4(2022)年はやや減少に転じましたが、全体的には増加傾向にあり、令和5(2023)年には83,162世帯となっています。

みどりの面積は、平成28(2016)年に240.5ha、令和3(2021)年に243.9haと増加しています。

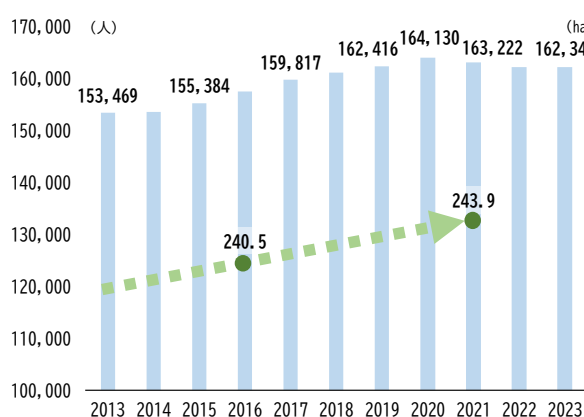


図 葛西地域(南部)の人口推移と  
みどりの面積(ha)

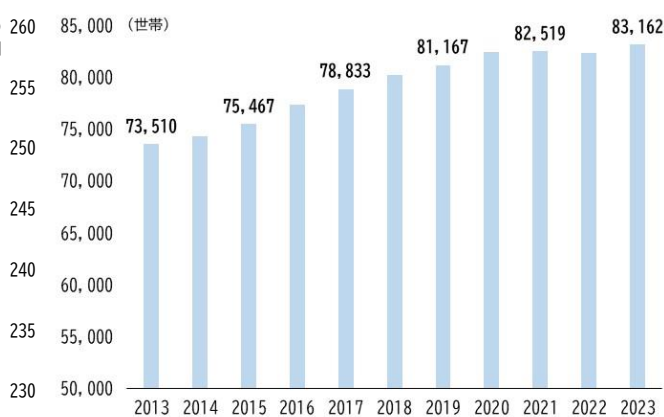


図 葛西地域(南部)の世帯数推移

③ 土地利用

- 葛西駅・西葛西駅周辺は、商業、集合住宅が混在する土地利用となっています。
- 環七通り沿道には、商業系の土地利用も見られます。
- 土地区画整理事業などが多く実施され、地域全体として、良好な都市基盤をもつ集合住宅が多くなっています。



凡例		
官公庁施設	スポーツ・興行施設	公園・運動場等
教育文化施設	独立住宅	未利用地等
厚生医療施設	集合住宅	道路
供給処理施設	専用工場	畑
事務所建築物	住居併用工場	樹園地
専用商業施設	倉庫運輸関係施設	水面・河川・道路
住商併用建物	農林漁業施設	原野・森林
宿泊・遊興施設	屋外利用地・仮設建物	その他

図 土地利用（葛西地域（南部））  
（令和3（2021）年度区部土地利用現況調査）



#### ④ みどりの現状

- 葛西臨海公園・葛西海浜公園や総合レクリエーション公園といった大規模公園が整備されており、公園・運動場などの占める割合が高くなっています。
- スポーツだけでなく、釣りや水辺でのバーベキューやデイキャンプなどのアクティビティや生物多様性拠点もあり、多様なみどりを楽しめる地域です。
- 本地域には54園の公園があり、このうち1,000㎡未満の公園は12園(22.2%)、1,000以上2,500㎡未満の公園は17園(31.5%)、2,500㎡以上の公園は25園(46.3%)となっています。
- 本地域のみどりの目標に対する現状は以下のとおりです。

指 標	現状値
地域のみどり率	34.6%
区民一人あたりの公園面積(陸域)	8.4m <sup>2</sup>
身近な公園の充足率	93.3%

※ みどり率は平成30(2018)年の数値を使用



凡例			
	樹林		水面・河川・水路(草地)
	原野・草地		公園・緑地(水面)
	公園・緑地(樹林)		公園・緑地(緑被地・水面以外)
	公園・緑地(原野・草地)		水面・河川・水路(緑被地以外)
	農用地(樹林)		
	農用地(草地)		
	農用地(緑被地以外)		
	水面・河川・水路(樹林)		

図 みどりの状況(葛西地域(南部))



## (2) これまでの取組

年	主な取組
昭和6(1931)年	中川放水路(中川)開通
昭和44(1969)年	東西線開通(葛西駅開業)
昭和54(1979)年	東西線西葛西駅開業
昭和58(1983)年	総合レクリエーション公園一部開園
昭和59(1984)年	新左近川親水公園完成
昭和63(1988)年	京葉線葛西臨海公園駅開業
平成元(1989)年	葛西臨海公園・葛西海浜公園の一部開園 葛西親水四季の道完成
平成3(1991)年	新長島川親水公園完成
平成5(1993)年	総合レクリエーション公園開園
平成6(1994)年	葛西臨海公園内に鳥類園開園
平成9(1997)年	左近川親水緑道完成
平成30(2018)年	葛西海浜公園が「ラムサール条約湿地」として登録
令和元(2019)年	新左近川親水公園カヌー場完成
令和2(2020)年	カヌー・スラロームセンター開設
令和3(2021)年	東京オリンピックでのカヌー(スラローム)競技開催
令和5(2023)年	魔法の文学館開館

## (3) 魅力と課題

### ① 魅力

#### 【レクリエーション空間】

- 葛西臨海公園には、水族園、鳥類園、大観覧車、ホテルなどの施設が整備されており、葛西海浜公園を含めて、東京湾有数のレクリエーション空間となっています。
- 総合レクリエーション公園は、西葛西駅前から東は旧江戸川に隣接するなぎさ公園までの東西約3kmにわたり、各種遊び場が連なる個性的な公園となっており、子どもが楽しめる環境が充実しています。
- なぎさ公園内には、「魔法の文学館(江戸川区角野栄子児童文学館)」が開設され、児童文学の素晴らしさを広く世界に向けて発信し、子どもたちが自由に本を選び、手にとって親しむことで、夢のふくらむ豊かな想像力を育むことができる場を創り出しています。
- なぎさ公園ツツジ山やフラワーガーデンでは、花を通じたイベントなどが多く開催され、人が楽しみ、交流するにぎわいの場となっています。
- 令和元(2019)年に新左近川親水公園カヌー場が完成し、四季折々の自然と触れ合いながら、豊かな水辺に親しめるカヌースポーツの拠点が整備されました。初心者から競技者まで幅広い層がカヌーを楽しむことができます。

### 【みどり豊かな空間】

- 荒川・旧江戸川沿いの緑道は、水とみどり豊かな快適な歩行空間が形成されています。
- 新左近川親水公園周辺には、左近川親水緑道、新長島川親水公園が整備されています。新左近川親水公園では釣りが楽しめ、水辺でのバーベキューやデイキャンプが楽しめる広場も設置されています。
- 計画的な市街地整備が行われた地域であるため、公園などの都市基盤が充実しています。

### 【豊かな生物多様性】

- 葛西海浜公園沖合の自然干潟である葛西沖三枚洲は、東京湾に残された貴重な自然空間となっており、ラムサール条約湿地にも登録されました。
- 葛西海浜公園は、ラムサール条約の9つの基準のうち、3つを満たしています。
  - 基準4 生活環の重要な段階を支える上で重要な湿地  
スズガモ・カンムリカイツブリが該当
  - 基準5 定期的に2万羽以上の水鳥を支えている湿地 ガンカモ類が該当
  - 基準6 水鳥の1種又は1亜種の個体群の1%以上を定期的に支えている湿地  
スズガモ・カンムリカイツブリが該当
- 小規模な生物多様性拠点も多くあり、仲町公園では、小規模なビオトープに葦が生え、水生生物やトンボの生息地となっています。清新町緑道の一画にはバタフライガーデンが整備され、様々な種の蝶が集まる空間が整備されています。また、食草植物としてミソハギ・ミカン、吸蜜植物としてランタナ、百日草、ユリオプスデージーを植栽しています。自然保護や環境教育の目的づくり、訪れる人に蝶の生態や環境について学ぶ機会を提供しています。



新左近川親水公園



葛西臨海公園

## ② 課題

### 【都市基盤整備、防災への配慮】

- 東葛西付近は、大半が「区画整理事業を施工すべき区域」に指定されており、狭い道路が多く、公園や広場が不足している公園不足地域が多く存在しています。まちづくりに合わせて、防災の視点から、グリーンインフラなどによるみどりの充実が必要です。

### 【老朽化した大規模公園の更新】

- 総合レクリエーション公園や葛西臨海公園など開園後30年以上が経過した公園は施設の老朽化が進んでいます。これらの大規模な公園をこれからも地域の顔として活用していくためには適切な更新や維持管理が必要となります。

## (4) 地域の将来像と方針

### ① 将来像

海をのぞみ、豊かな水・みどり・生物多様性が広がるまち

### ② 方針

#### ◆総合レクリエーション公園や葛西臨海公園・葛西海浜公園など、

地域の顔となる公園を活用したみどり機能の拡充

- 総合レクリエーション公園をみどりの拠点、葛西臨海公園・葛西海浜公園を自然交流拠点及び生物多様性拠点と位置づけます。両公園にはそれぞれ特徴となる施設や遊び場が整備され、区外からも多くの来訪者がみられます。総合レクリエーション公園においては、地域の顔として、公園機能の拡充、適切な更新や維持管理など、みどりの計画的な整備などを進めていきます。

#### ◆豊かな自然環境を活かした生態系の保全とエコロジカルネットワークの形成

- ラムサール条約湿地に登録された葛西海浜公園は、生物多様性拠点として保全に努めます。ラムサール条約は、湿地の「保全・再生」とともに「賢明な利用」を目的とし、これらを促進する「交流・学習」を基本理念としていることから、本公園においても、基本理念に沿った取組を実施していきます。
- 荒川・中川と旧江戸川では多様な生物が確認されており、生物の生息空間を引き続き保全・育成していきます。
- まちなかには大規模公園や親水緑道、親水公園が多く整備され、豊かなみどり空間が広がっています。エコロジカルネットワークや生物の生息空間を意識した整備を促進していきます。
- 仲町公園のビオトープや清新町緑道のバタフライガーデンなどの小規模な生物多様性拠点においては、引き続き生物の生息・成育空間を考慮した維持管理を進めます。

#### ◆親水空間を活用した環境づくり

- 左近川親水緑道、新左近川親水公園、新長島川親水公園周辺を、自然交流拠点と位置づけます。特に新左近川親水公園では、みどりや水辺に親しめるレクリエーション空間が豊富に整備されているため、さらなるにぎわいが生まれるような工夫や、機能拡充などを検討していきます。
- 新左近川親水公園では、水辺のにぎわいを生み出す空間を整備し、みどりの中で水上スポーツを楽しめる拠点を形成します。

#### ◆公園を活用した防災機能の強化

- 総合レクリエーション公園などの大規模公園には災害に備えた施設などが整備されており、発災時の災害対応や平時の防災訓練などに活用し、地域防災力のさらなる向上を図ります。
- 東葛西付近では公園が不足している地域があり、まちづくりに合わせ、防災に寄与するみどりの拡充など、機能の強化を図ります。



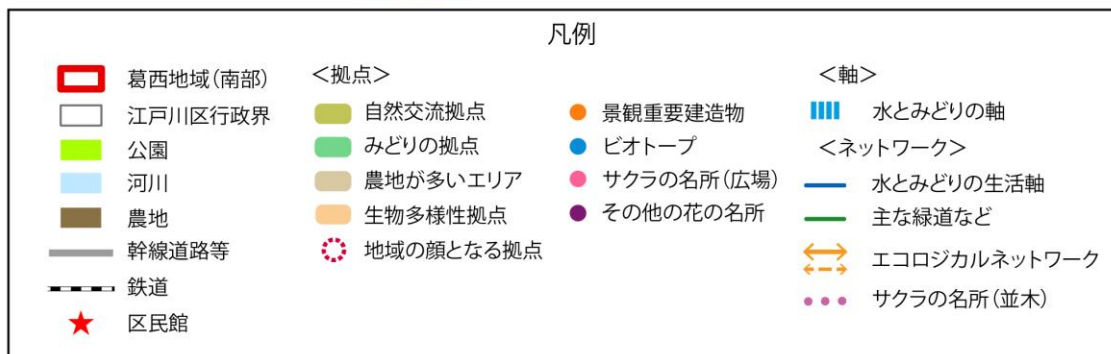


図 みどりと生物多様性の方針図(葛西地域(南部))

## 5. 小岩地域

### (1) 地域の概況

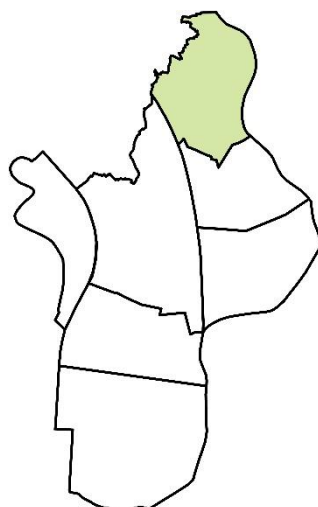
#### ① 地域の成り立ち

小岩地域は、区の北端に位置し、江戸川と新中川に囲まれた地域で、葛飾区、松戸市、市川市と隣接しています。

明治時代の小岩駅開業により地域が発展し、関東大震災後は市街化が進みました。昭和40年代になると、総武線の複々線化に併せて、小岩駅の駅舎改修や南口商店街のアーケード整備などが行われ、商業地として急速に発展しました。

上小岩遺跡や渡し跡、旧道など歴史を感じる資源を有しているほか、農地が点在する低層の住宅地のまちなみや、親水緑道のネットワークなど、豊かな水とみどりの空間が形成されています。

現在は、地域の拠点である小岩駅周辺で、魅力ある様々なまちづくりが行われています。



#### ② 人口・世帯

人口は、平成28(2016)年以降増加に転じ、令和2(2020)年までは増加傾向が続いていましたが、その後減少に転じ、令和5(2023)年には96,650人となっています。ピークの98,479人から約2,000人減少しています。

世帯数は、全体的には増加傾向にあり、令和5(2023)年には52,539世帯となっています。

みどりの面積は、平成28(2016)年に127.2ha、令和3(2021)年に125.2haとやや減少しています。

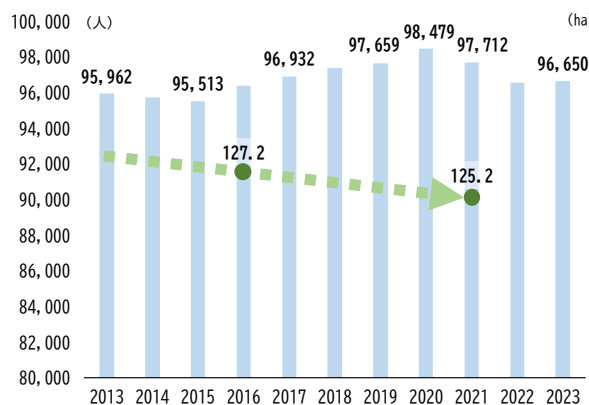


図 小岩地域の人口推移とみどりの面積(ha)

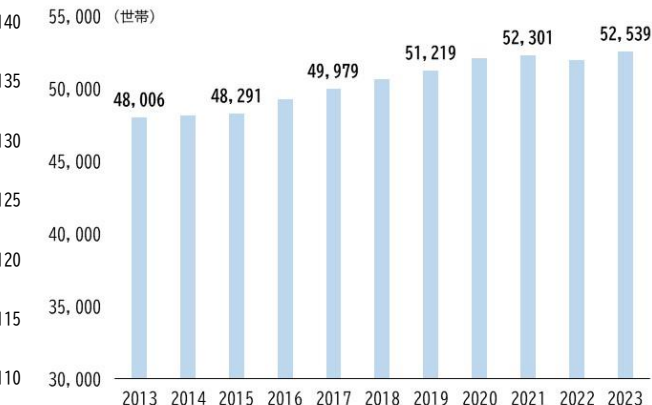


図 小岩地域の世帯数推移



### ③ 土地利用

- 江戸川右岸一帯には、大規模な公園・運動場などが整備され、みどりのオープンスペースが広がっており、まちなかには小規模な公園が整備されています。
- 東小岩は農地が点在する住宅地が形成されています。
- 小岩駅・京成小岩駅周辺、蔵前橋通り沿道、千葉街道沿道、柴又街道沿道において、商業施設の立地がみられます。
- 北小岩は整形な区画の住宅地が形成されている一方で、南小岩や西小岩は、街区が不整形な住宅密集地となっており、戸建て住宅と共同住宅が共存している土地利用がみられます。



図 土地利用(小岩地域)  
(令和3(2021)年度区部土地利用現況調査)



④ みどりの現状

- 江戸川右岸一帯には、大規模な公園・運動場などが整備され、みどりのオープンスペースが広がっており、まちなかには小規模な公園が整備されています。
- 本地域には65園の公園があり、このうち1,000㎡未満の公園は49園(75.4%)、1,000以上2,500㎡未満の公園は13園(20.0%)、2,500㎡以上の公園は3園(4.6%)となっています。身近な公園の充足率が7地域で一番低くなっています。
- 本地域のみどりの目標に対する現状は以下のとおりです。

指 標	現状値
地域のみどり率	29.0%
区民一人あたりの公園面積(陸域)	5.1m <sup>2</sup>
身近な公園の充足率	81.7%

※ みどり率は平成30(2018)年の数値を使用



凡例

樹林	農用地(樹林)	水面・河川・水路(草地)
原野・草地	農用地(草地)	公園・緑地(水面)
公園・緑地(樹林)	農用地(緑被地以外)	公園・緑地(緑被地・水面以外)
公園・緑地(原野・草地)	水面・河川・水路(樹林)	水面・河川・水路(緑被地以外)

図 みどりの状況(小岩地域)

## (2) これまでの取組

年	主な取組
明治 32(1899)年	総武鉄道(現総武線)小岩駅開業
大正元(1912)年	京成本線江戸川駅開業
昭和 7(1932)年	京成本線京成小岩駅開業
昭和 27(1952)年	フラワーロードのアーケード完成
昭和 38(1963)年	新中川放水路(新中川)開通
昭和 57(1982)年	小岩菖蒲園開園
昭和 63(1988)年	親水さくらかいどう完成
平成元(1989)年	西小岩親水緑道完成
平成 2(1990)年	上小岩親水緑道完成 下小岩親水緑道完成
平成 3(1991)年	興農親水緑道完成

## (3) 魅力と課題

## ① 魅力

## 【歴史資源の点在】

- 北小岩は、柴又街道と江戸川に囲まれ、遺跡や渡し跡、旧道などの多様な歴史を有しているとともに、上小岩親水緑道や親水さくらかいどうなどの親水緑道が整備されています。東小岩は、天然記念物の「影向の松」がある善養寺や農地の集積があり、歴史とみどりが融合した住環境やまちなみが形成されています。

## 【江戸川河川敷のみどりと生物多様性】

- 江戸川河川敷には、スポーツやレクリエーションを楽しむための空間や、憩い、やすらぎのための空間が形成されています。
- 江戸川やその河川敷には、多様な生物の生息が確認されています。
- 明治 23(1890)年 5月 11日に北小岩四丁目先において、牧野富太郎博士が世界的に見ても例の少ない食虫植物のムジナモを日本で初めて発見しました。ムジナモは水草で光合成もしますが、ミジンコなどを栄養にする食虫植物です。



石碑(ムジナモ発見の地)

## 【花を通じたにぎわい・交流拠点の形成】

- 小岩フラワーロードで開催される花壇コンクール・フラワーまつりや、小岩菖蒲園まつり、善養寺影向菊花大会など、花を通じたにぎわいが形成されています。小岩菖蒲園は、5月から6月に約5万本の花菖蒲が咲き誇り、花の名所となっています。



小岩菖蒲園まつり

### 【JR小岩駅周辺地区のまちづくり】

- JR小岩駅周辺地区では、「子どもも大人も熟年者もみんなが安心して暮らし、昼も夜も安全に楽しめるまち。緑やこもれびがあり毎日でも訪れたい私たちの憩いの場。みんなに元気を与え、みんなを笑顔にするまち。「百年商栄都市・小岩」その繁栄を人々の和が繋げていく。まちが生活の一部になる。」そんな小岩のまちを目指し大規模なまちづくりを進めています。



JR小岩駅周辺地区まちづくりイメージ

## ② 課題

### 【身近な公園の確保】

- 小岩駅周辺や江戸川沿川の市街地には、木造住宅の密集や細街路が多くみられます。また、特に北小岩には歩いて行ける身近な公園が不足しています。そのような場所では、農地・未利用地の活用や、まちづくりに合わせ、公園の整備が求められます。

### 【農地の保全】

- 生産緑地、宅地化農地がともに減少を続ける中で、地域に点在する貴重な農地を保全するための取組が必要です。特に生産緑地は、地区指定後30年が経過すると指定解除が可能となるため、これらの農地を保全するため特定生産緑地への指定推進や、都市農地貸借円滑化法に基づく農地の貸借など様々な対策が求められます。



## (4) 地域の将来像と方針

### ① 将来像

遺跡が眠る古い歴史と新たなまちづくりにみどりが融合するまち

### ② 方針

#### ◆小岩駅・京成小岩駅周辺地区などのまちづくりに合わせた新たなみどりの創出

- 小岩駅・京成小岩駅周辺地区のまちづくりに合わせ、地域のみどりの拠点として機能の強化を図るとともに、地域の玄関口として魅力あるみどりの景観形成を進めます。
- 令和元(2019)年にはJR小岩駅周辺地区まちづくり基本計画を策定し、交通広場や南北を繋ぐ道路を整備するとともに、にぎわいのある快適な住環境や歩いて楽しめるみどり豊かなゆとりある歩道の形成を進めています。



JR小岩駅北口地区イメージ



サンロード(補助第285号線)イメージ

#### ◆公園、親水緑道、歴史資源を活用した環境づくり

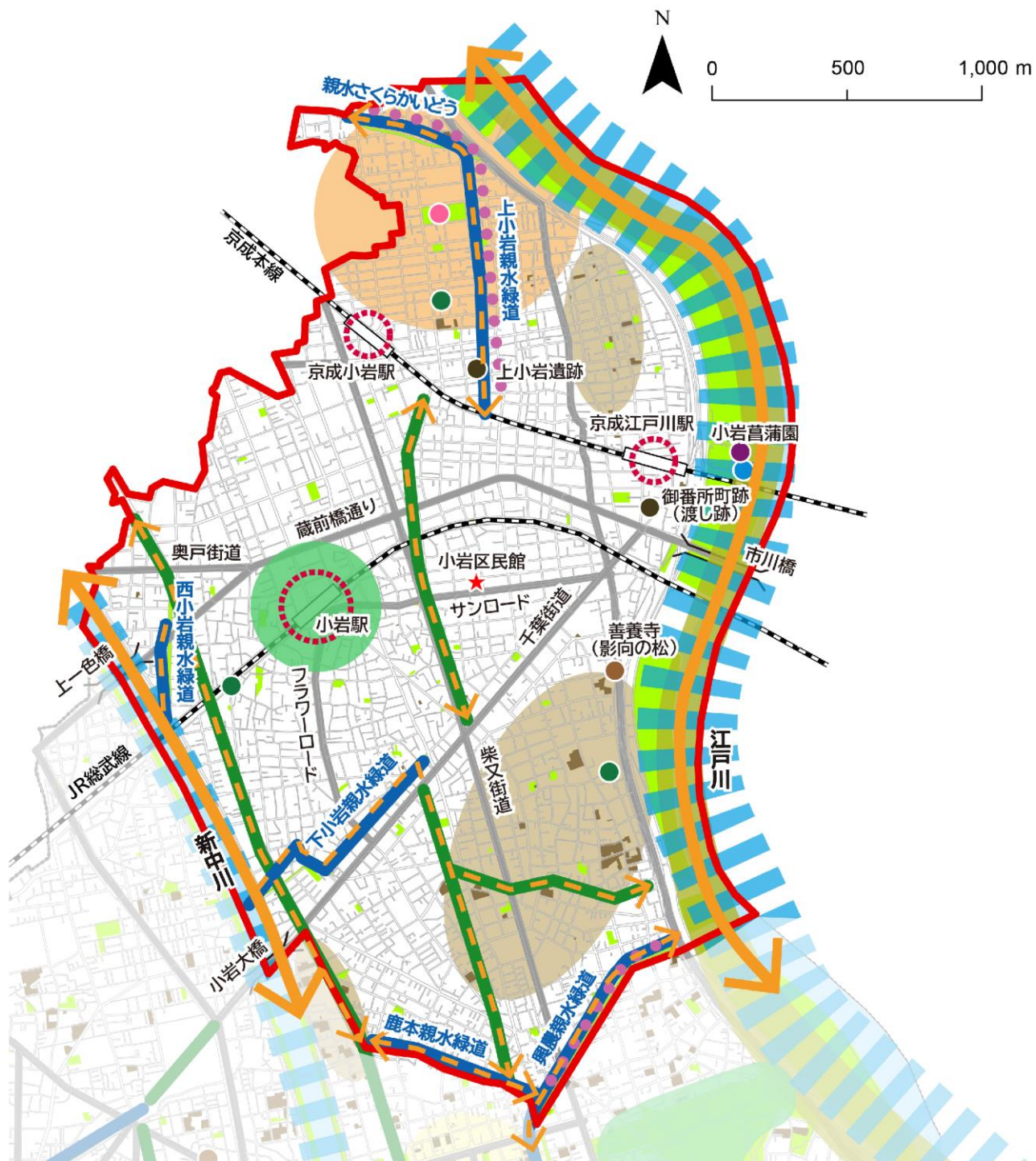
- 小岩フラワーロードの花壇コンクール・フラワーまつりや、小岩菖蒲園まつり、善養寺影向菊花大会などの花を通じたイベントにおいて、みどりの情報発信やにぎわいづくりを行っています。
- 小岩菖蒲園は、毎年5月から6月には区内外から多くの人々が訪れます。今後は区民との協働で花の名所づくりを進めています。
- 地域の各エリアには特徴ある親水緑道が整備され、地域の特徴的な空間が形成されています。親水緑道を水とみどりの生活軸と位置づけ、親水空間や豊富なみどりの空間を拡充するとともに、エコロジカルネットワークの形成にも力を入れていきます。
- 東小岩などに点在する寺社などの歴史資源を活かし、ネットワークを形成しながら、歴史とみどりが融合した環境づくりを進めています。
- 身近な公園が不足している北小岩周辺では、農地・未利用地の活用や、まちづくりに合わせた新たな公園の整備を推進します。

#### ◆河川空間を活用したみどり機能の拡充及び生物多様性の保全

- 江戸川河川敷に整備された空間について、みどり機能の拡充と更なる利用促進を図ります。また、河川に生息する生物の生息空間を保全し、生物多様性の回復を図ります。

#### ◆点在する農地の保全・活用

- 地域の北部や南部には農地が多いエリアが点在しています。生産緑地指定の計画的な誘導、宅地化農地の保全、営農支援や農地の貸借など、農地を減少させないための取組を進めていきます。



凡例

小岩地域	<拠点> 自然交流拠点	歴史資源	<軸> 水とみどりの軸
江戸川区行政界	みどりの拠点	景観重要樹木	<ネットワーク> 水とみどりの生活軸
公園	農地が多いエリア	天然記念物(樹木)	主な緑道など
河川	生物多様性拠点	ビオトープ	エコロジカルネットワーク
農地	地域の顔となる拠点	サクラの名所(広場)	サクラの名所(並木)
幹線道路等		その他の花の名所	
鉄道			
区民館			

図 みどりと生物多様性の方針図(小岩地域)

## 6. 鹿骨地域

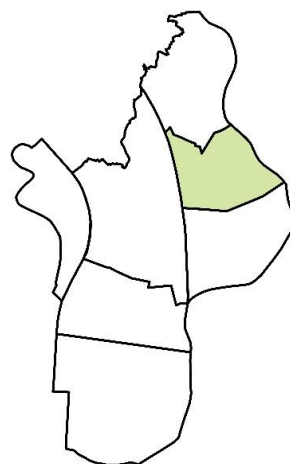
### (1) 地域の概況

#### ① 地域の成り立ち

鹿骨地域は、区の東端に位置し、市川市と隣接した、江戸川と新中川に囲まれた小岩地域以南の地域です。

かつては水田の広がる田園地帯であり、昭和初期に現在の東京都農林総合研究センターが開設され、戦後の土地改良事業により街区の基礎が形成されました。昭和60年代になると、篠崎駅開業を契機に、駅周辺で土地区画整理事業が始まり良好な住宅地が形成されました。また、篠崎文化プラザや商業施設も整備され、区民の利便性が向上しました。花卉や小松菜を栽培する農地、生垣や屋敷林が多く分布しています。

今後は、農地を保全・活用し、地域特性を活かしながら、魅力あるまちづくりを行います。



#### ② 人口・世帯

人口は、令和2(2020)年までは微増の傾向にありましたが、その後減少に転じ、令和5(2023)年には54,455人となっています。ピークの55,554人から約1,000人減少しています。

世帯数は増加傾向にあり、令和5(2023)年には26,651世帯となっています。

みどりの面積は、平成28(2016)年に129.3ha、令和3(2021)年に128.5haとやや減少しています。

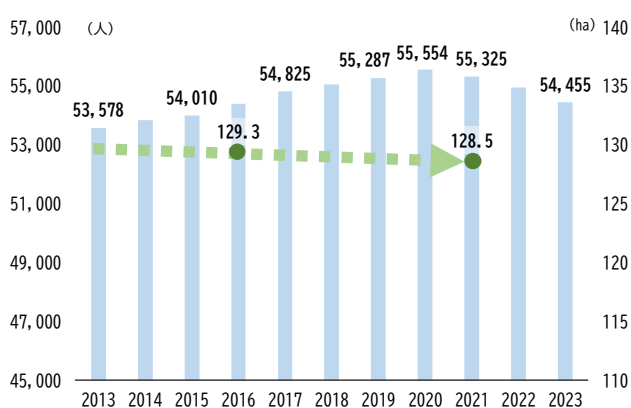


図 鹿骨地域の人口推移と  
みどりの面積(ha)

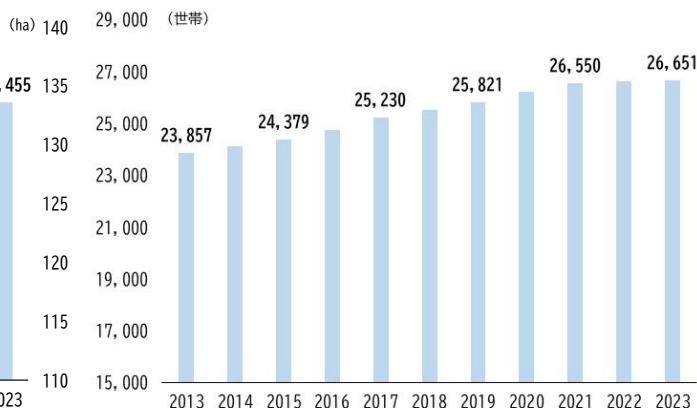


図 鹿骨地域の世帯数推移



③ 土地利用

- 江戸川右岸一帯や篠崎公園など、大規模なみどりのオープンスペースが整備されています。
- 土地区画整理事業が行われた篠崎駅周辺は、商業施設や集合住宅が立地しています。



凡例					
	官公庁施設		スポーツ・興行施設		公園・運動場等
	教育文化施設		独立住宅		未利用地等
	厚生医療施設		集合住宅		道路
	供給処理施設		専用工場		畑
	事務所建築物		住居併用工場		樹園地
	専用商業施設		倉庫運輸関係施設		水面・河川・道路
	住商併用建物		農林漁業施設		原野・森林
	宿泊・遊興施設		屋外利用地・仮設建物		その他

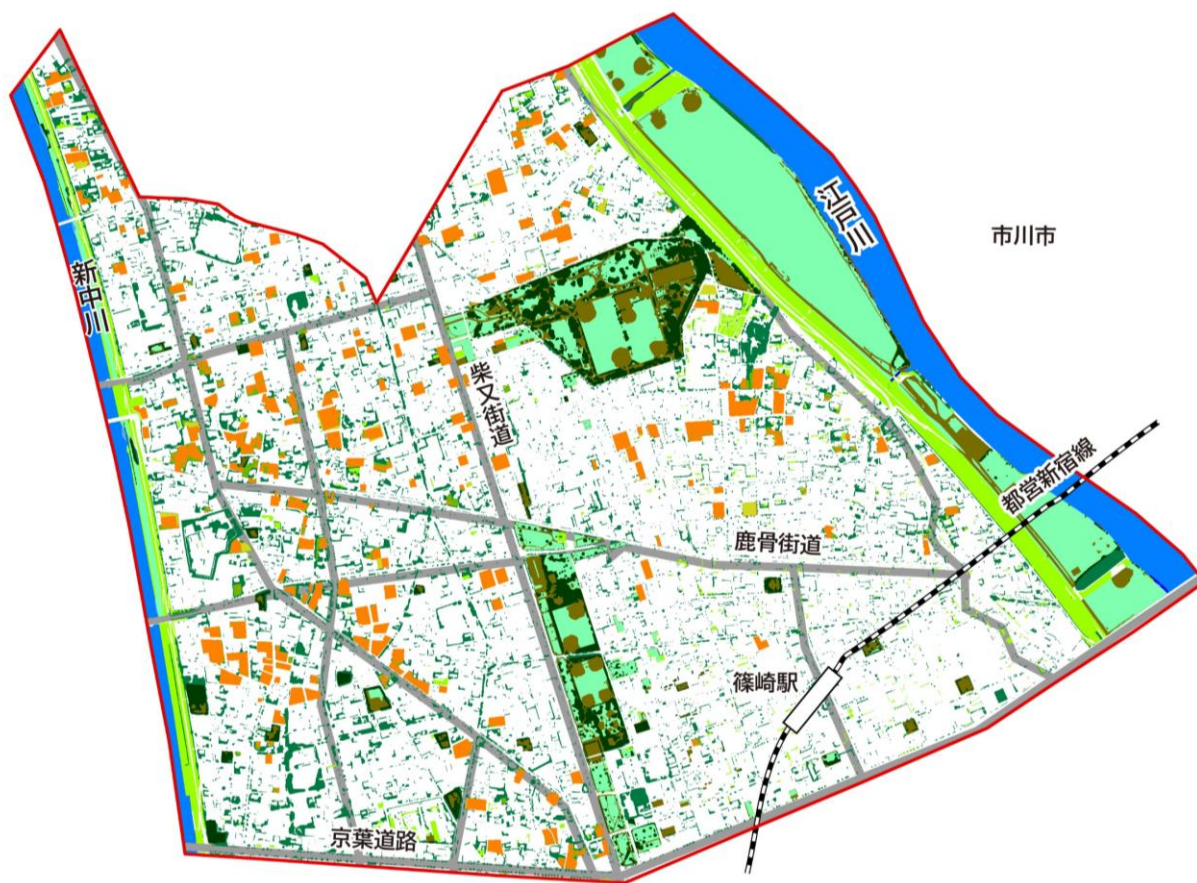
図 土地利用(鹿骨地域)  
(令和3(2021)年度区部土地利用現況調査)

④ みどりの現状

- 江戸川右岸一帯や篠崎公園など、大規模なみどりのオープンスペースが整備されています。
- 花卉や小松菜を栽培する農地など、都内でも貴重な農の空間がみられます。
- 本地域には51園の公園があり、このうち1,000㎡未満の公園は26園(51.0%)、1,000以上2,500㎡未満の公園は18園(35.3%)、2,500㎡以上の公園は7園(13.7%)となっています。一人あたりの公園面積が10㎡を超えており、7地域で最も大きい状況です。
- 本地域のみどりの目標に対する現状は以下のとおりです。

指 標	現状値
地域のみどり率	36.7%
区民一人あたりの公園面積(陸域)	12.4m <sup>2</sup>
身近な公園の充足率	95.2%

※ みどり率は平成30(2018)年の数値を使用



凡例		
樹林	農用地(樹林)	水面・河川・水路(草地)
原野・草地	農用地(草地)	公園・緑地(水面)
公園・緑地(樹林)	農用地(緑被地以外)	公園・緑地(緑被地・水面以外)
公園・緑地(原野・草地)	水面・河川・水路(樹林)	水面・河川・水路(緑被地以外)

図 みどりの状況(鹿骨地域)



(2) これまでの取組

年	主な取組
昭和4(1929)年	東京府立鹿骨園芸採取園(現東京都農林総合研究センター)開設
昭和38(1963)年	新中川放水路(新中川)開通
昭和42(1967)年	篠崎公園開園
昭和61(1986)年	都営新宿線篠崎駅開業
平成3(1991)年	興農親水緑道完成
平成7(1995)年	鹿骨親水緑道完成
平成19(2007)年	浅間神社特別緑地保全地区指定
平成20(2008)年	本郷用水親水緑道完成
令和5(2023)年	農の風景育成地区の指定

(3) 魅力と課題

① 魅力

【都内でも貴重な農の空間】

- 昭和4(1929)年に現在の東京都農林総合研究センターが開設され、この周辺は本区の農業振興の拠点となりました。鹿骨地域には、江戸時代から代々小松菜農家を営んできた農家が多く、本地域は区内で有数の小松菜栽培エリアとなっています。また、花卉栽培もさかんであり、朝顔、サクラソウ、春の七草の寄せ植えなどの草花が生産されています。また、区民農園が集積するほか、生垣や樹木が植えられている農地も多く分布しています。



東京都農林総合研究センター江戸川分場

- えどがわ環境財団により、地域内の生産緑地で、区民とともに花やブルーベリーを育てる取組が実施されており、農地の積極的な活用、触れ合いの促進がなされています。

【歴史資源の点在】

- 鹿骨地域には、「せんげんさまの森」として親しまれている浅間神社、旧鹿骨村の鎮守である鹿島神社などの寺社が分布し、古木や大木も残っており、歴史資源と一体となったみどりがみられます。



せんげんさまの森(浅間神社)



**【親水緑道、公園、河川敷】**

- 本地域には、鹿骨親水緑道や本郷用水親水緑道など5路線の親水緑道が整備され、水とみどりのネットワークを形成しています。また、篠崎公園や江戸川河川敷などの大規模なオープンスペースも整備され、にぎわい拠点となっています。



篠崎公園



鹿骨親水緑道

**② 課題****【農地の保全】**

- 鹿骨地域を特徴づける農地は減少傾向にあり、今後、営農者の高齢化に伴う担い手不足により、さらに減少することが懸念されます。令和5(2023)年には「農の風景育成地区」に指定されたことから、農家・地域住民・行政が協力し、農の魅力発信や農を守る機運の醸成、農家の支援などを積極的に行っていく必要があります。

**【安全性の確保とみどりの充実】**

- 江戸川沿川は、密集する木造住宅の改善と大規模水害に強いまちづくりが求められており、高規格堤防整備と一体となった効果的な緑地整備や市街地整備を検討する必要があります。
- 上篠崎の江戸川沿川での高規格堤防の整備により、安全性を確保しつつ水とみどりのネットワークを形成する必要があります。
- 区内の環状道路を形成する補助第288号線の整備が進められており、道路整備に合わせた計画的な街路樹の植栽を検討する必要があります。

## (4) 地域の将来像と方針

### ① 将来像

#### 農の風景を継承し、みどりが住環境と調和するまち

### ② 方針

#### ◆農の風景の保全・育成

- 「農の風景育成地区」に指定された鹿骨1丁目及び2、3、4、5、6丁目、新堀1丁目の各エリアを農とみどりの拠点として位置づけます。本拠点を中心として、農と住環境が調和したまちなみを保全し、将来へ継承するための取組を実施していきます。
- 営農継続が困難となった農地を、農をテーマとした公園などに整備し、農に触れ、学び、農家との交流を通じた『農のファン』を育成する場とします。
- 農の魅力発信など、農家や地域住民と協力して農を守る機運を醸成します。

#### ◆都市計画道路事業や区画整理事業に合わせた新たなみどりの創出

- 篠崎公園周辺のまちづくりでは、高規格堤防事業、都市計画公園事業、土地区画整理事業、都市計画道路事業、都市計画緑地事業を一体的に推進することとしており、江戸川との一体性、良好な住環境の形成、篠崎公園地区の防災機能の充実などを図りながら、計画的に新たなみどりの創出や水とみどりのネットワーク形成を行っていきます。
- 補助第288号線の整備に合わせた計画的な街路樹整備を検討します。

#### ◆豊かな水辺空間を活かした生物多様性の保全

- 地域を縦横断するように親水緑道が整備され、地域の特徴的な空間が形成されています。親水緑道を水とみどりの生活軸と位置づけ、親水空間や豊富なみどりの空間を拡充するとともに、エコロジカルネットワークの形成にも力を入れていきます。
- 江戸川と新中川では多様な生物が確認されており、生物の生息空間を引き続き保全・育成していきます。

#### ◆大規模公園の整備促進

- 篠崎公園とその一体をみどりの拠点及び生物多様性拠点として位置づけます。篠崎公園には、野球場、テニスコート、バーベキュー広場などがあり、敷地内には芝山やみどりのオープンスペースが整備されています。地域の顔として、公園機能の拡充やみどりの計画的な整備などを進めていきます。また、生物の生息空間の確保やエコロジカルネットワークを考慮したみどりの配置などを意識し、整備していきます。  
※バーベキュー広場とテニスコートの一部は、篠崎公園の再整備に伴い閉鎖しています。整備が完了し次第、再開する予定です。

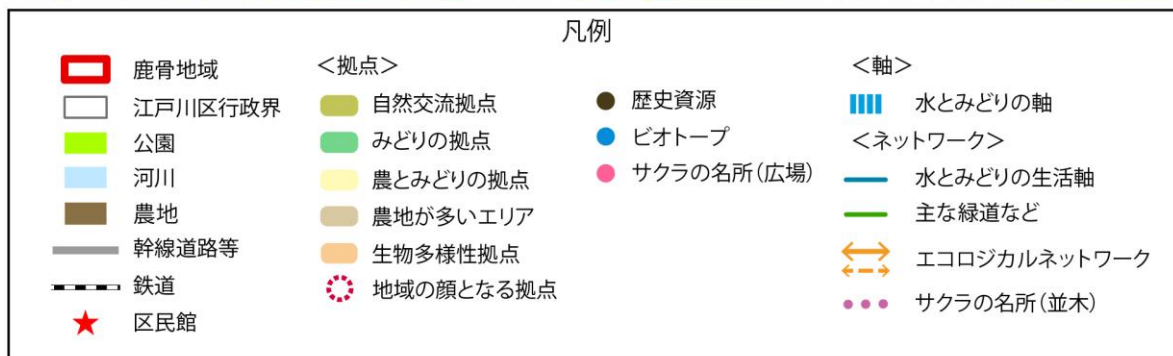


図 みどりと生物多様性の方針図(鹿骨地域)



## 7. 東部地域

### (1) 地域の概況

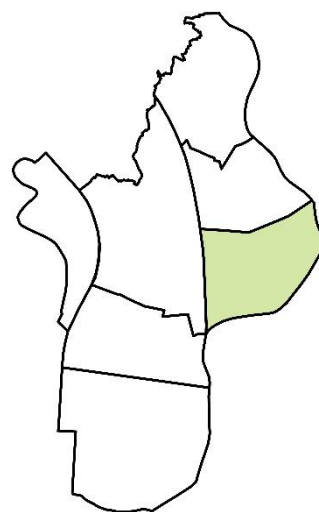
#### ① 地域の成り立ち

東部地域は、区の東端に位置し、市川市と隣接した、旧江戸川と新中川に囲まれた京葉道路以南の地域です。

明治時代までは水田の広がる田園地帯であり、その後、瑞江地区で区内初となる耕地整理事業が行われ、街区の基礎が形成されました。高度経済成長期になると京葉道路が開通し、昭和60年代には瑞江駅の開業に併せて土地区画整理事業が始まり、良好な市街地環境が整備されるとともに商業集積が進みました。また、一之江名主屋敷や大雲寺などの歴史ある資源や、篠田堀親水緑道などの身近な憩い空間が広がっています。

また、江戸川二丁目のスーパー堤防事業に合わせて整備した東部交通公園は、区内初のゼロエミッションパーク\*であり、区内唯一の交通公園となっております。

今後は、旧江戸川沿いに分布するスポーツ・レクリエーション施設などのにぎわい資源を活かして更なるまちの魅力向上を図ります。



#### ② 人口・世帯

人口は、平成31(2019)年までは微増の傾向にありましたが、その後減少に転じ、令和5(2023)年には90,216人となっています。ピークの91,346人から約1,000人減少しています。

世帯数は、全体的には増加傾向にあり、令和5(2023)年には43,707世帯となっています。

みどりの面積は、平成28(2016)年に97.9ha、令和3(2021)年に96.0haとやや減少しています。

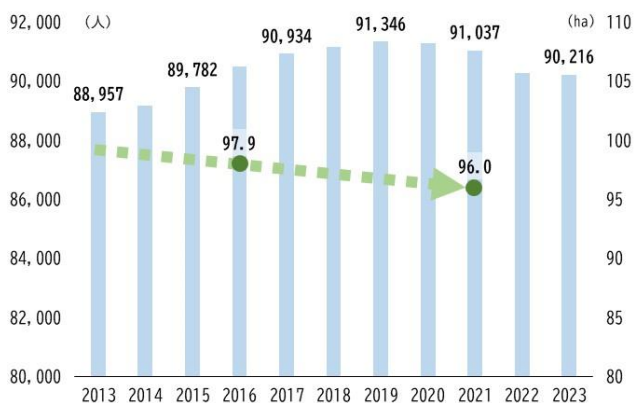


図 東部地域の人口推移と  
みどりの面積(ha)

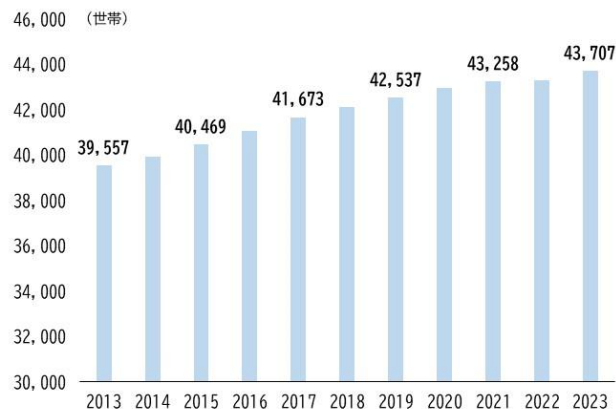


図 東部地域の世帯数推移

### ③ 土地利用

- 江戸川、旧江戸川、新中川沿川には、公園・運動場などや原野・森林が広がっています。
- 土地区画整理事業が行われた瑞江駅周辺には商業施設や集合住宅が立地しています。
- 江戸川一・二丁目などでは、短冊状の街区や不整形な街区に住宅が密集する市街地が形成されています。



図 土地利用(東部地域)  
(令和3(2021)年度区部土地利用現況調査)



(2) みどりの現状

- 江戸川、旧江戸川、新中川沿川には、公園・運動場などや原野・森林が広がっています。
- 地域北部には中規模な公園・運動場などが多く整備されています。
- 本地域には86園の公園があり、このうち1,000㎡未満の公園は33園(38.4%)、1,000以上2,500㎡未満の公園は28園(32.6%)、2,500㎡以上の公園は25園(29.1%)となっています。小規模な公園から大規模な公園までバランスよく整備されていますが、区民一人あたりの公園面積は全区平均よりも少ない状況です。
- 本地域のみどりの目標に対する現状は以下のとおりです。

指 標	現状値
地域のみどり率	24.2%
区民一人あたりの公園面積(陸域)	2.6m <sup>2</sup>
身近な公園の充足率	95.2%

※ みどり率は平成30(2018)年の数値を使用

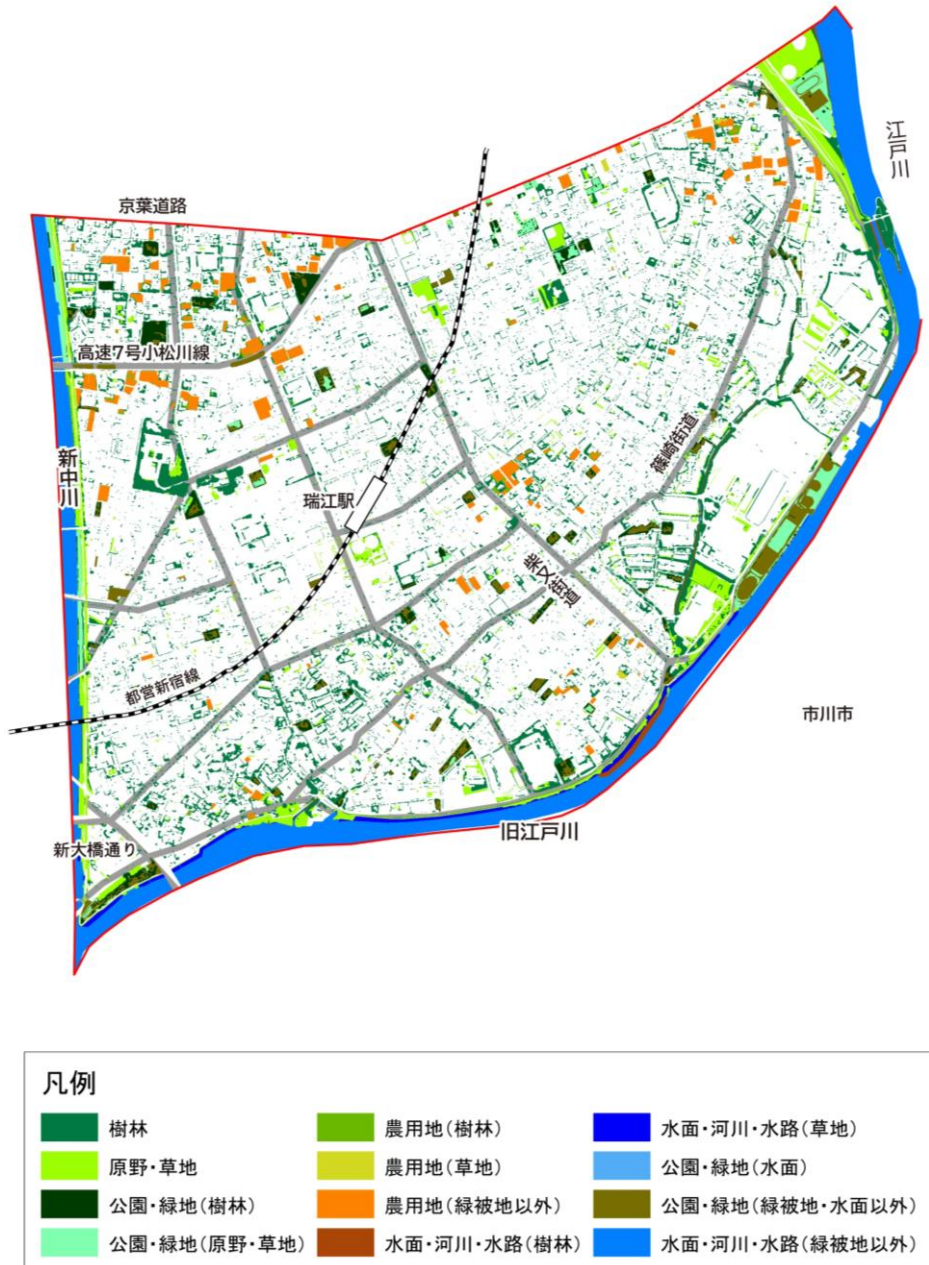


図 みどりの状況(東部地域)



## (3) これまでの取組

年	主な取組
昭和 18(1943)年	江戸川水門・閘門完成
昭和 38(1963)年	新中川放水路(新中川)開通
昭和 43(1968)年	今井児童交通公園開園
昭和 50(1975)年	篠崎ポニーランド開園
昭和 57(1982)年	スポーツランド落成
昭和 61(1986)年	都営新宿線瑞江駅開業
平成 6 (1994)年	鎌田川親水緑道完成 椿親水緑道完成 篠田堀親水緑道完成
平成 10(1998)年	宿川親水緑道完成
平成 18(2006)年	東井堀親水緑道完成
平成 21(2009)年	水辺のスポーツガーデン開園
平成 26(2014)年	瑞穂の里公園開園

## (4) 魅力と課題

## ① 魅力

## 【豊富なみどり・公園と生物多様性】

- 竹と親しむ広場や水田が整備された瑞穂の里公園、ビオトープの設置されたみずえ中央公園やみずえの森公園など、個性的な公園・広場が整備されています。
- 篠崎三丁目は、農地が集積しており、生産緑地や農業ボランティアの研修農地、篠崎小学校の学校農園、大規模な区民農園などの多様な形態の農地があります。
- 篠田堀親水緑道は、自然回復を目指し整備されたことから、川床に砂利が敷かれ、動植物の生息環境に配慮した構造となっています。また、下流部では既存の桜並木を生かした整備を行い、毎年お花見の時期には多くの人で賑わっています。その他にも、植物や生物などの生態系に優しい椿親水緑道など、多様なエコロジカルネットワークが形成されています。

## 【歴史資源の点在】

- 安永年間に再建された姿を残す一之江名主屋敷や、多くの歌舞伎役者が眠る大雲寺、江戸川三丁目付近の寺社集積地など歴史を感じる資源があります。敷地内には歴史を感じるみどりが多く植栽されています。



一之江名主屋敷

### 【スポーツ・レクリエーション】

- 旧江戸川沿いは、アイススケート場のあるスポーツランドや、篠崎ポニーランド、水辺のスポーツガーデンなど多様なスポーツ・レクリエーション施設が配置されています。



水辺のスポーツガーデン



篠崎ポニーランド

### ② 課題

#### 【都市基盤整備、防災への配慮】

- 旧江戸川沿川でのスーパー堤防や都市計画道路の整備、都営住宅団地や清掃工場の建替えなど、進展するまちづくりを契機として、みどりやオープンスペースの計画的な創出、保全を図る必要があります。
- 江戸川三丁目や東瑞江二丁目などは、防災上の課題を抱えている地区です。まちづくりに合わせて、防災の視点から、グリーンインフラなどによるみどりの充実が必要です。



スーパー堤防(江戸川二丁目)

#### 【農地の保全】

- 生産緑地、宅地化農地がともに減少を続ける中で、地域に点在する貴重な農地を保全するための取組が必要です。特に生産緑地は、地区指定後 30 年が経過すると指定解除が可能となるため、これらの農地を保全するため特定生産緑地への指定推進や、都市農地貸借円滑化法に基づく農地の貸借など様々な対策が求められます。

## (5) 地域の将来像と方針

### ① 将来像

豊かな水とみどりがうるおう、スポーツとレクリエーションのまち

### ② 方針

#### ◆まちづくりに合わせた新たなみどりの創出

- 旧江戸川沿いでのスーパー堤防や都市計画道路の整備、都営住宅団地や清掃工場の建替えなど、進展するまちづくりを契機として、みどりやオープンスペースの計画的な創出、保全を図ります。
- まちづくりに合わせ、公園の整備・拡充や街路樹、生垣などの新たなみどりの創出や防災上の視点から、グリーンインフラによるみどりの充実を図ります。

#### ◆公園、親水緑道、歴史資源を活用した環境づくり

- 小規模ながらも個性的な公園・広場では、ビオトープや水田、竹林などの特徴的な施設を活かし、みどりに親しみ、学ぶ場としての機能を拡充させます。
- スポーツ・レクリエーション施設では、更なる利用促進を図るとともに、旧江戸川や周辺のみどりとのつながりに配慮して整備を進めていきます。
- 地域の各エリアで特徴ある親水緑道が整備され、地域の特徴的な空間が形成されています。親水緑道を水とみどりの生活軸と位置づけ、親水空間や豊富なみどりの空間を拡充するとともに、エコロジカルネットワークの形成にも力を入れていきます。
- 地域内に点在する寺社やお屋敷などの歴史資源を活かし、ネットワークを形成しながら、歴史とみどりが融合した環境づくりを進めていきます。

#### ◆河川空間を活用したみどり機能の充実及び生物多様性の保全

- 河川敷に整備された空間について、みどり機能を拡充させ、更なる利用促進を図ります。
- 河川に生息する生物の生息空間を保全し、生物多様性の回復を図ります。

#### ◆点在する農地の保全・活用

- 地域の東部や北西部には農地が多いエリアが点在しています。生産緑地指定の計画的な誘導、宅地化農地の保全、営農支援など、農地を減少させないための取組を進めていきます。
- 農業ボランティアの研修農地や学校農園、大規模な区民農園など、既存農地の機能を拡充させ、農に触れあう機会創出を図ります。



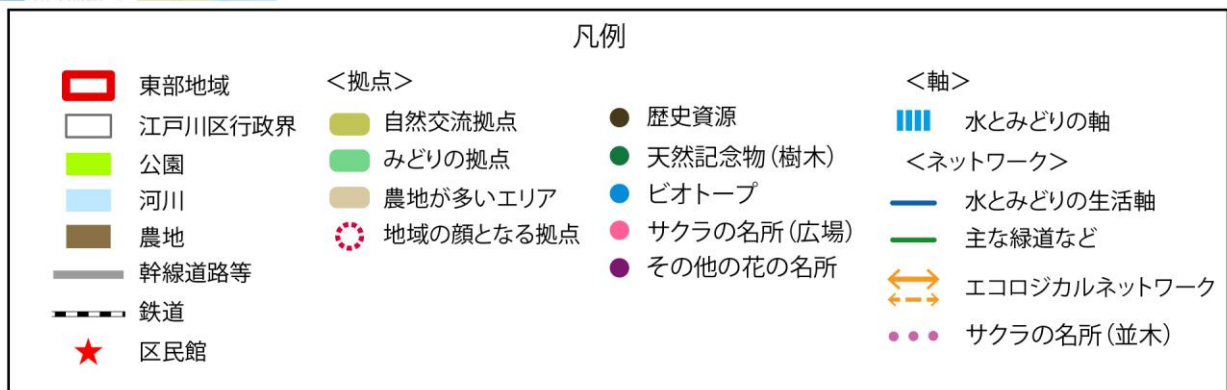
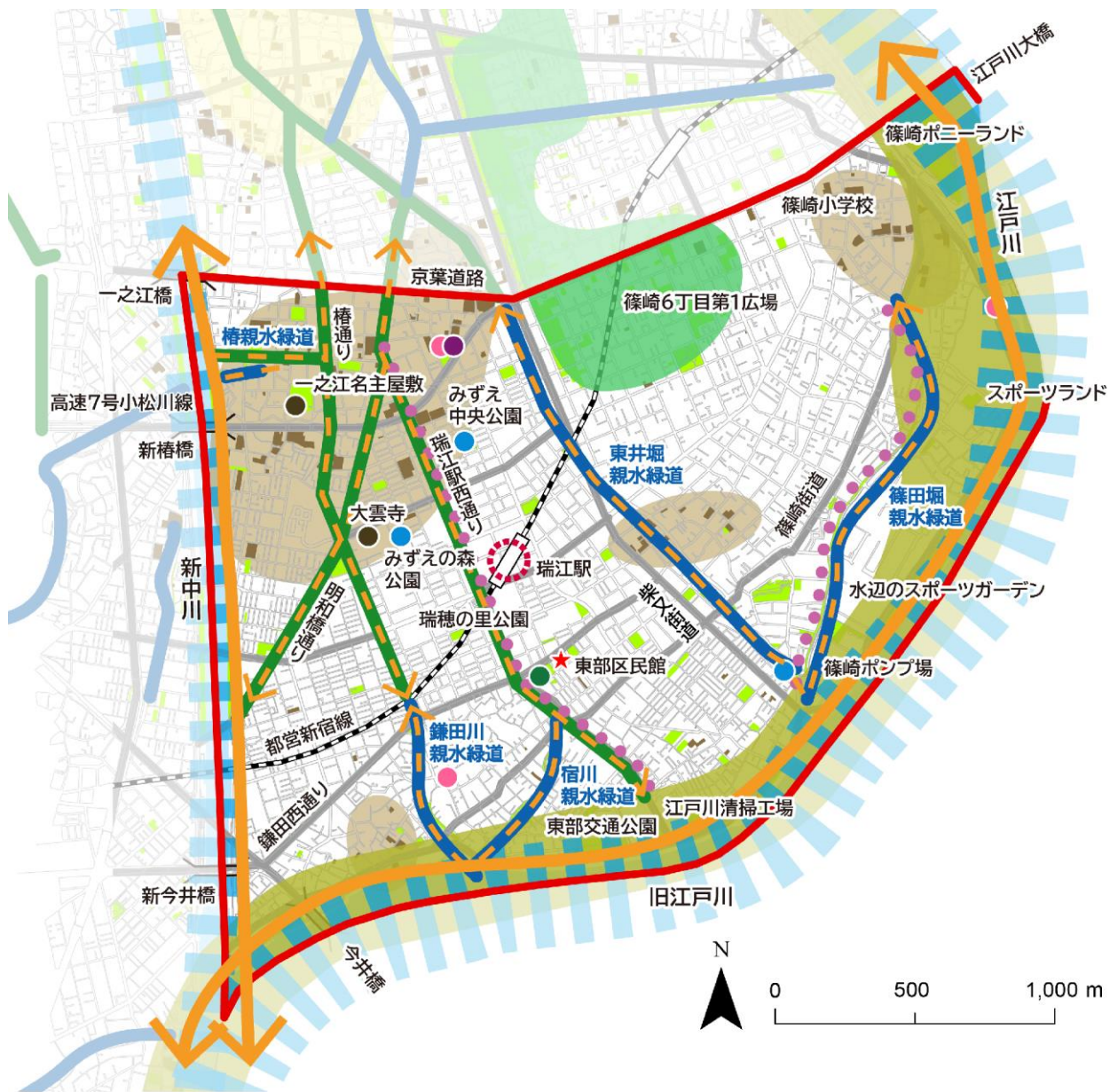


図 みどりと生物多様性の方針図(東部地域)

# 第6章 計画の実現に向けて

## 1. 基本的な考え方

本区に暮らし、学び、働くすべての人と行政が力を合わせて、「ともに生きるまち」の実現に向けて、次の4つの基本的な考え方に基づき、計画を推進していきます。

### ●多様性を大切にします

将来にわたって誰もが幸せを感じられ、持続可能な活力あるまちを目指すためには、人の多様性を尊重し、そのちがいを力に変えることが大切です。子どもから高齢者まで誰もが、個々人が望む形で地域に参画することができ、その考えを表明し、そしてその能力を十分に発揮できるまちをつくっていきます。

### ●みんなで力を合わせます

複雑化かつ多様化する地域の課題を解決するためには、みんなで力を合わせていく必要があります。

これまでも本区では、きれいな地域を作るために、道路や公園、水辺などの身近な公共スペースを、地域の皆様が自分たちの財産として、ボランティアによる清掃活動などを行っていただき、また、新たな取組として、公園を「地域の庭」として利活用していただくために、地域の皆様による利用ルールづくりや公園運営を行う「みんなのこうえんプロジェクト」を始めました。

これからも、区民一人ひとりはもちろんのこと、町会・自治会、区内事業者、各種団体、ボランティア、行政などが対等な立場で協力していきます。一方、他自治体や区外企業、大学、NPOなどとの新たな連携も模索し、地域力の更なる向上に努めます。

### ●環境を守り育みます

江戸川区は豊かな水辺と多くのみどりに囲まれた、都市と自然が調和したまちです。このすばらしい環境を未来に残していくには、豊かなみどりや住み良い生活環境を守っていく必要があります。そのため、みんながこの問題を自分ごととして捉え、豊かな環境を大切に守り育てていきます。

### ●将来世代への思いやりの心を持ち続けます

これからも江戸川区で暮らし、活動する人々の豊かな未来を実現するために、将来世代への思いやりの心もち、計画実現に全力を尽くしていきます。

## 2. 区民・開発事業者・区の役割

本区は、これまで区民、開発事業者、区が一体となった地域力により、水とみどりの豊かな住環境の形成や地域のにぎわいづくりなどに取り組んできました。

本計画で掲げたみどりの将来像を実現していくためには、区民、開発事業者、区が相互に連携・協力していくことが必要です。これまで以上に各主体が連携し、民間活力を有効に活用しながら「水・みどり・農、ともに生きる豊かな暮らし」の実現に向けて取り組んでいきます。

### (1) 区民の役割

区民とは、区民一人ひとり、町会・自治会、ボランティア団体、企業のことをいいます。

区民は、身近な花やみどりを守り、育て、創る主体です。

一人ひとりや各団体・企業の思いを行動に移し、まちに広げていくことが大切です。

身近なみどりに目を向け、地域の課題を認識し、地域のみどりづくりに参加して区民相互のつながりを深めるなど、様々な活動に積極的に参加することで、「みもりを守る」「みもりを育む」「みもりを創る」ことに貢献することを期待します。

### (2) 開発事業者の役割

開発事業者とは、区内において開発や建築行為などの事業を行う主体をいいます。

開発事業者は、地域社会の一員としてみどりへの関心を高め、責務の一つとして地域に貢献できるみどりづくりの活動に参画することが求められています。

民有地の緑化のみならず、資材・人材や資金援助、緑化活動への参加など、みどりのまちづくりを担う一員として積極的に係わっていただくことを期待します。

### (3) 区の役割

区は、「江戸川区みどりの基本計画」に基づいて、みどりの施策を進めるための実施体制を充実させるとともに、みどりに関わる各部署が連携のうえ、現行施策の継続・拡充はもとより、新たな施策の早期着手に取り組めます。

同時に、区民の活動を促す環境づくりに努め、区民の自主的な活動への支援などについても積極的に行っていきます。開発事業者に対しては、開発や建築行為の際の緑化指導を行います。

クラウドファンディング\*や基金の活用など様々な視点を持ち、「みもりを守る」「みもりを育む」「みもりを創る」を推進していきます。特に本区の貴重な農地を保全・活用するため、農家の方だけでなく地域住民と協力し、区民に対し農の魅力の発信や農を守る機運の醸成、農家への支援などを行い地域と連携しながら農の保全・育成に取り組めます。

また、3方向を河川・海に囲まれた本区の地域特性を最大限に活用するため、環境や防災など様々な視点から近隣自治体と連携してみどりの保全・活用に取り組めます。





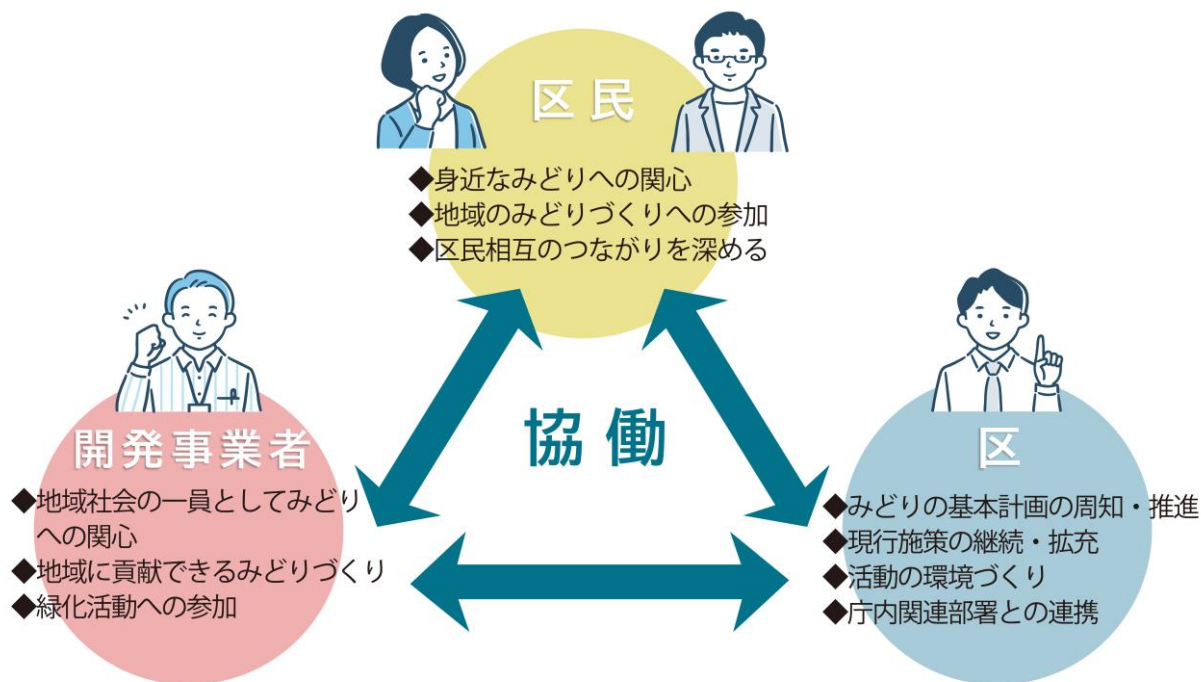


図 区民・開発事業者・区の役割

### 3. 区民主体のみどりづくりの推進

一人ひとりがみどりに興味をもって行動することでまちのみどりづくりの行動を広げます。

一人ひとりが行動することで、まち全体のみどりの活動が広がります

#### 一人ひとりの思い

興味を持つ



例えば

本やテレビ、区のお知らせなどで面白そうなものを発見

もっと知る



例えば

学習プログラムへの参加や図書館や植物園などで個人研究

#### 行動して思いを実現

やってみる



例えば

区や地域が主催するイベントや地域活動などに参加



#### 行動が広がる

継続する



例えば

区の支援事業やボランティア情報を活用

仲間を見つける



例えば

個人ホームページやアダプト活動交流会で活動の情報交換

#### まちに広げる

皆に広げる



例えば

水と緑のリーダーやサポーターになって活動



## 4. 計画の進行管理

### (1) 基本的な考え方

本計画は、概ね10年後のみどりの将来像の実現に向けた方針、施策を定めています。

ただし、その内容は本区を取り巻く社会情勢の変化などに応じ、適切に見直す必要があります。実施施策は庁内の各組織の連携・協力が重要であり、効果的かつ効率的な施策を展開するため、計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Action)のサイクルにより進行管理を行います。



図 PDCAサイクル

### (2) 進捗状況の点検と見直し

実施施策の進捗状況については随時点検を行います。ただし、本計画の成果が得られるまでには一定の期間を要するため、社会状況の変化などを踏まえ、必要に応じて適切に見直しを行っていくこととします。

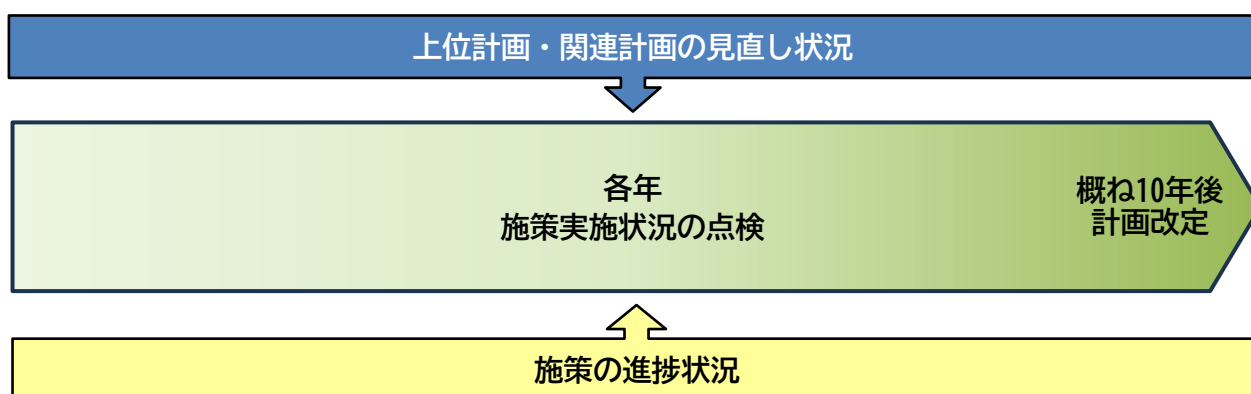


図 進捗状況の点検と見直し



江戸川区みどりの基本計画 評価シート				〈令和●年度実績・評価〉		
基本方針	1	みどりを守る		記入者	江戸川 みどり	
				担当課	●●課	
方針	2	農を守り活用します		関連するSDGs	  	
施策	①	農地の保全と活用				
事業名	1	農の風景の創出と保全	継続	○	新規	—
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鹿骨地域において、「農の風景育成地区」を指定しており、今後は営農者や地域住民と協力して、魅力の発信や農を守る機運の醸成、農家の支援などを行い、地域連携により農の風景を保全していきます。</li> <li>● 営農者や地域と協働で農業体験や本区の農業の魅力をPRするイベントを開催します。</li> <li>● 経営規模の拡大などを旨とする農家による自身所有の宅地などを農地へ整備する取組を支援し、農地の創出を図ります。</li> </ul>					
	事業の達成状況 (年度において、計画と比べた事業達成状況、および達成／未達成の場合の理由を記入)					
	次年度に向けた課題 (次年度に向けた課題、および課題を解決するための方法案等を記入)					
今後の方向性 (今後の市民ニーズの動向や、社会経済・国・県の動向等を踏まえ、今後進むべき方向性を記入)						
事業名	2	農地の防災機能の周知・拡充	継続	○	新規	—
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 農地所有者の協力により、防災協力農地として協定を結び、避難空間などとして活用を進めていくとともに、看板を掲示することで、その農地が生産の場以外にも地域にとって重要であることを区民に周知していきます。</li> <li>● 災害時に生活用水を確保できるよう、防災兼用農業用井戸の整備を推進します。</li> </ul>					
	事業の達成状況 (年度において、計画と比べた事業達成状況、および達成／未達成の場合の理由を記入)					
次年度に向けた課題 (次年度に向けた課題、および課題を解決するための方法案等を記入)						
今後の方向性 (今後の市民ニーズの動向や、社会経済・国・県の動向等を踏まえ、今後進むべき方向性を記入)						

図 進捗状況チェックシートのイメージ



## 1. 検討経緯

### (1) 改定委員会

計画の改定にあたり、みどりに関する専門家である学識経験者、関係団体の代表者、公募区民、江戸川区職員からなる「江戸川区みどりの基本計画改定委員会」を設置し、改定内容の検討を行いました。

令和4(2022)年7月6日から令和5(2023)年11月5日までは「江戸川区みどりの基本計画改定委員会設置要綱」に基づき改定委員会を設置しておりましたが、令和5(2023)年11月6日付けで「付属機関条例」が交付されましたので、令和5(2023)年11月6日以降は「付属機関条例」に基づき改定委員会を設置いたしました。

これに併せて、令和5(2023)年11月6日付けでこれまでの「江戸川区みどりの基本計画改定委員会設置要綱」は「江戸川区みどりの基本計画改定委員会に関する要綱」に改正されました。

### ① 設置要綱

#### 江戸川区みどりの基本計画改定委員会設置要綱

(設置)

第1条 都市緑地法(昭和48年法律第72号)第4条第1項に基づき策定した江戸川区みどりの基本計画(以下「みどりの基本計画」という。)を改定するため、江戸川区みどりの基本計画改定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、みどりの基本計画の改定案について、江戸川区におけるみどりの現状及び社会情勢等の把握並びにこれまでの当該計画に基づく施策の取組状況を踏まえ、評価及び分析を行い、その検討結果を江戸川区長(以下「区長」という。)に報告する。

(委員会)

第3条 委員会の委員は、次に掲げる者のうちから区長が委嘱し、又は任命する。

(1) 学識経験者

(2) 関係団体の代表者

(3) 公募区民

(4) 江戸川区職員

2 委員会に委員長及び副委員長を置く。

3 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

4 委員長は委員会を代表し、会務を総括する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

6 第1項の規定にかかわらず、委員長が特に必要と認めるときは、臨時委員を置くことができる。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日からみどりの基本計画の改定が完了する日までとする。

(招集等)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開催することができない。

3 会議は、非公開とする。

4 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決するものとし、可否同数の場合は委員長の決するところとする。

5 委員長が必要と認めるときは、委員は、ウェブ会議システム（情報通信技術を利用する方法により、映像及び音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができるシステムをいう。）により、委員会に出席することができる。

（事務局）

第6条 委員会の事務局は、環境部水とみどりの課に置く。

（報償）

第7条 第3条の委員（江戸川区職員を除く。）に対する報償は、別に定めるところにより予算の範囲内で支給する。

（委任）

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

付 則

この要綱は、令和4年7月6日から施行する。



江戸川区みどりの基本計画改定委員会に関する要綱

令和4年7月6日要綱第114号

(趣旨)

第1条 この要綱は、都市緑地法（昭和48年法律第72号）第4条第1項に基づき策定した江戸川区みどりの基本計画（以下「みどりの基本計画」という。）を改定するため、江戸川区附属機関の設置に関する条例（令和5年11月江戸川区条例第41号）により設置した江戸川区みどりの基本計画改定委員会（以下「委員会」という。）の組織、運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、みどりの基本計画の改定案について、江戸川区におけるみどりの現状及び社会情勢等の把握並びにこれまでの当該計画に基づく施策の取組状況を踏まえた評価及び分析を行い、その検討結果を江戸川区長（以下「区長」という。）に報告する。

(委員会)

第3条 委員会の委員は、次に掲げる者のうちから区長が委嘱し、又は任命する。

(1) 学識経験者

(2) 関係団体の代表者

(3) 公募区民

(4) 江戸川区職員

2 委員会に委員長及び副委員長を置く。

3 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

4 委員長は委員会を代表し、会務を総括する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

6 第1項の規定にかかわらず、委員長が特に必要と認めるときは、臨時委員を置くことができる。

(招集等)

第4条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ開催することができない。

3 会議は、非公開とする。

4 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決するものとし、可否同数の場合は委員長の決するところとする。

5 委員長が必要と認めるときは、委員は、ウェブ会議システム（情報通信技術を利用する方法により、映像及び音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができるシステムをいう。）により、委員会に出席することができる。

(事務局)

第5条 委員会の事務局は、環境部水とみどりの課に置く。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

付則 (省略)

付 則

この要綱は、令和5年11月6日から施行する。

② 委員名簿

	所 属	氏 名	備 考
学 識 経験者	東京農業大学 客員教授	はまの ちかやす 濱野 周泰	委員長
	東京農業大学 教授	みずにわ ちづこ 水庭 千鶴子	副委員長
	日本大学 助教	みとも なな 三友 奈々	副委員長
関係団体 の代表	農業経営者クラブ 代表	なかだい よしかず 中代 喜一	
	認定特定非営利活動法人 えどがわエコセンター 理事長	いわせ こうじ 岩瀬 耕二	
公募 区民	区民	うめはら しげる 梅原 滋	
	区民	しまだ なおこ 島田 直子	
	区民	まつぬま みちこ 松沼 満子	
江戸川区 職員	都市開発部長	まわけ はるひこ 眞分 晴彦	
	産業経済部長	いしづか こうじ 石塚 幸治	
	土木部長	たちはら なおまさ 立原 直正	
	環境部長	あまぬま ひろし 天沼 浩	

### ③ 開催概要

回	開催日	議事	開催状況
第1回	令和4(2022)年 8月31日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改定の目的・背景</li> <li>・みどりの現状と課題</li> <li>・改定の方針</li> <li>・公園のあり方について</li> <li>・検討体制・スケジュール</li> <li>・その他</li> </ul>	
第2回	令和4(2022)年 12月12日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンハウス及び意見募集の実施結果について</li> <li>・「江戸川区みどりの基本計画」(骨子案)について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>	
第3回	令和5(2023)年 3月23日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「江戸川区みどりの基本計画」(素案)について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>	
第4回	令和5(2023)年 9月7日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「江戸川区みどりの基本計画」(原案)について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>	
第5回	令和5(2023)年 12月18日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「江戸川区みどりの基本計画」(案)について</li> </ul>	
第6回	令和6(2024)年 3月28日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「江戸川区みどりの基本計画」について</li> </ul>	



## (2) 改定庁内検討会

みどりに関わる庁内各課で組織する「江戸川区みどりの基本計画改定庁内検討会」を設置し、改定内容について検討を行いました。

### ① 参加者

経営企画部	企画課長
SDGs 推進部	ともに生きるまち推進課長
危機管理部	防災危機管理課長
都市開発部	参事 都市計画課長事務取扱
	施設課長
	学校建設技術課長
環境部	環境課長
	気候変動適応計画課長
	気候変動地域連携課長
	公園整備課長
	水とみどりの課長（事務局）
文化共育部	健全育成課長
生活振興部	小岩事務所長
産業経済部	産業経済課長
子ども家庭部	保育課長
土木部	計画調整課長
教育委員会	教育推進課長
	学校施設課長
えどがわ環境財団事務局長	
えどがわエコセンター次長	

### ② 開催概要

回	開催日	議事
第1回	令和4(2022)年 8月5日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検討体制・今後のスケジュール</li> <li>・ 「江戸川区みどりの基本計画」改定の目的・背景</li> <li>・ 江戸川区のみどりの現状と課題</li> <li>・ 改定の方向性について</li> <li>・ 今後のスケジュールについて</li> </ul>
第2回	令和4(2022)年 10月6日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回「江戸川区みどりの基本計画」改定庁内検討会以降の動きについて</li> <li>・ オープンハウスについて</li> <li>・ 今後のスケジュールについて</li> </ul>
第3回	令和4(2022)年 11月14日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープンハウス及び意見募集結果について</li> <li>・ 「公園のあり方」について</li> <li>・ 公園の禁煙化について</li> <li>・ 「江戸川区みどりの基本計画」(骨子)(案)について</li> </ul>
第4回	令和5(2023)年 3月13日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「江戸川区みどりの基本計画」(素案)について</li> <li>・ 今後のスケジュールについて</li> </ul>

回	開催日	議事
第5回	令和5(2023)年 6月7日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「江戸川区みどりの基本計画」(素案)に関する意見募集について</li> <li>・「第5章 地域別計画」について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
第6回	令和5(2023)年 8月30日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「江戸川区みどりの基本計画」(原案)について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
第7回	令和5(2023)年 12月4日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「江戸川区みどりの基本計画」(原案)に関する意見募集・オープンハウスの実施結果について</li> <li>・「江戸川区みどりの基本計画」(案)について</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>

### (3) 意見募集・オープンハウス

「江戸川区みどりの基本計画」や「江戸川区のみどり」について意見募集を行い、多くの貴重な意見をいただきました。

#### ① 令和4年度

##### 1) 「みどり」に関する意見募集・オープンハウス

###### ■意見募集（区ホームページ）

実施期間：令和4(2022)年10月1日（土）～10月29日（土）

意見数：41件

###### ■オープンハウス

実施期間：地域毎に平日1日、土日祝日1日 10時から16時

意見数：212件 ※4通は郵送

実施結果：以下の通り

オープンハウス実施結果

地域	施設名	1日目	2日目	来場者数	意見数
鹿骨	篠崎コミュニティ会館	10月7日（金）	10月8日（土）	25名	12件
小松川・平井	中平井コミュニティ会館	10月10日（祝）	10月11日（火）	81名	54件
小岩	小岩アーバンプラザ	10月14日（金）	10月15日（土）	35名	20件
中央	グリーンパレス	10月16日（日）	10月17日（月）	26名	12件
東部	東部区民館	10月21日（金）	10月22日（土）	52名	30件
葛西①	長島桑川コミュニティ会館	10月23日（日）	10月24日（月）	80名	54件
葛西②	アリオ葛西	10月28日（金）	10月29日（土）	104名	26件



オープンハウスの様子



オープンハウスの様子



## ② 令和5年度

### 1) 「江戸川区みどりの基本計画（素案）」に関する意見募集

#### ■意見募集（区ホームページ）

実施期間：令和5（2023）年4月15日（土）～4月28日（金）

意見数：40件

### 2) 「江戸川区みどりの基本計画（原案）」に関する意見募集

#### ■意見募集（区ホームページ）

実施期間：令和5年10月15日（日）～10月29日（日）

意見数：4件

#### ■オープンハウス

実施期間：地域毎に平日1日、土日祝日1日 10時から16時

意見数：122件

実施結果：以下の通り

オープンハウス実施結果

地域	施設名	1日目	2日目	来場者数	意見数
鹿骨	しのぎき文化プラザ	10月15日（日）	10月16日（月）	69名	17件
小松川・平井	中平井コミュニティ会館	10月15日（日）	10月16日（月）	88名	10件
小岩	小岩アーバンプラザ	10月20日（金）	10月21日（土）	56名	5件
中央	グリーンパレス	10月20日（金）	10月21日（土）	108名	19件
東部	東部区民館	10月22日（日）	10月23日（月）	58名	23件
葛西（南部）	長島桑川コミュニティ会館	10月22日（日）	10月23日（月）	71名	37件
葛西（北部）	二之江コミュニティ会館	10月27日（金）	10月28日（土）	84名	11件



オープンハウスの様子



オープンハウスの様子

### 3) 「江戸川区みどりの基本計画（案）」に関する意見募集

#### ■意見募集（区ホームページ）

実施期間：令和6（2024）年〇月〇日（〇）～〇月〇日（〇）

意見数：〇件

## 2. 生物調査結果

### (1) 河川や親水公園・緑道などで確認されたいきもの一覧

類	No.	確認された種
魚類・底生生物		
江戸川・旧江戸川	1	シジミ
	2	ヒメアメンボ
	3	クロチビミズムシ
	4	コミズムシ
	5	ユスリカ
	6	カダヤシ
	7	ミナミメダカ
	8	カワゴカイ
	9	スジエビ
	10	クロベンケイガニ
	11	ベンケイガニ
	12	モクズガニ
	13	アメンボ
	14	ウグイ
	15	マハゼ
	16	ウロハゼ
	17	マガキ
	18	ヤマトシジミ
	19	シロスジフジツボ
	20	キタフナムシ
	21	ユビナガスジエビ
	22	シラタエビ
	23	ヒライソガニ
	24	タカノケフサイソガニ
	25	ヤマトオサガニ
	26	シモフリシマハゼ
	27	チチブ

類	No.	確認された種
魚類・底生生物		
新中川	1	ニゴイ
	2	コイ（ニシキゴイ）
	3	ハクレン
	4	スズキ
	5	ボラ
	6	マハゼ
	7	ヌマチチブ
	8	コウロエンカワヒバリガイ
	9	マガキ
	10	ウチムラサキガイ
	11	アサリ
	12	テナガエビ
	13	クロベンケイガニ
	14	ベンケイガニ
	15	モクズガニ
	16	アメンボ

荒川 東なぎさ	1	コノシロ
	2	ウグイ属
	3	ニゴイ
	4	ボラ
	5	メナダ
	6	コチ科
	7	スズキ
	8	ヒイラギ
	9	クロダイ
	10	イダテンギンポ
	11	ヒモハゼ

類	No.	確認された種
荒川 東なギンナ	12	トビハゼ
	13	マハゼ
	14	アベハゼ
	15	マサゴハゼ
	16	シモフリシモハゼ
	17	ヒメハゼ
	18	ビリンゴ
	19	エドハゼ
	20	タテジマイソギンチャク
	21	タマキビガイ
	22	ホトトギスガイ
	23	コウロエンカワヒバリガイ
	24	マガキ
	25	ヤマトシジミ
	26	ヤマトカワゴカイ
	27	アシナガゴカイ
	28	ヨーロッパフジツボ
	29	シロスジフジツボ
	30	ドロフジツボ
	31	ニッポンドロソコエビ
	32	スノウミナナフシ属
	33	キタフナムシ
	34	フナムシ
	35	テナガエビ
	36	ユビナガスジエビ
	37	シラタエビ
	38	アメリカザリガニ
	39	ユビナガホンヤドカリ
	40	マメコブシガニ
	41	ガザミ

類	No.	確認された種
荒川 東なギンナ	42	クロベンケイガニ
	43	アカテガニ
	44	モクズガニ
	45	アシハラガニ
	46	ケフサイソガニ
	47	タカノケフサイソガニ
	48	チゴガニ
	49	ヤマトオサガニ
	50	ヒメアメンボ
	51	ハラグロコミズムシ
	52	コマツモムシ
	53	セスジゲンゴロウ
	54	ハイイロゲンゴロウ

鳥類		
江戸川・旧江戸川	1	キジ
	2	オカヨシガモ
	3	ヒドリガモ
	4	マガモ
	5	カルガモ
	6	ハシビロガモ
	7	オナガガモ
	8	コガモ
	9	ホシハジロ
	10	キンクロハジロ
	11	スズガモ
	12	カイツブリ
	13	カンムリカイツブリ
	14	ハジロカイツブリ
	15	キジバト



類	No.	確認された種
鳥類		
江戸川・旧江戸川	16	カワウ
	17	アオサギ
	18	ダイサギ
	19	チュウサギ
	20	コサギ
	21	バン
	22	オオバン
	23	タゲリ
	24	シロチドリ
	25	チュウシャクシギ
	26	ダイシャクシギ
	27	アオアシシギ
	28	キアシシギ
	29	ソリハシシギ
	30	イソシギ
	31	トウネン
	32	エリマキシギ
	33	ユリカモメ
	34	ウミネコ
	35	セグロカモメ
	36	オオセグロカモメ
	37	コアジサシ
	38	ミサゴ
	39	トビ
40	ノスリ	
41	カワセミ	
42	チョウゲンボウ	
43	モズ	
44	オナガ	

類	No.	確認された種
鳥類		
江戸川・旧江戸川	45	ハシボソガラス
	46	ハシブトガラス
	47	シジュウカラ
	48	ヒバリ
	49	ツバメ
	50	ヒヨドリ
	51	ウグイス
	52	メジロ
	53	オオヨシキリ
	54	セッカ
	55	ムクドリ
	56	シロハラ
	57	アカハラ
	58	ツグミ
	59	ジョウビタキ
	60	イソヒヨドリ
	61	スズメ
	62	ハクセキレイ
	63	タヒバリ
	64	カワラヒワ
	65	ホオジロ
	66	カシラダカ
	67	アオジ
	68	オオジュリン
69	カワラバト (ドバト)	

類	No.	確認された種
鳥類		
新中川	1	ヒドリガモ
	2	カルガモ
	3	コガモ
	4	ホシハジロ
	5	キンクロハジロ
	6	スズガモ
	7	キジバト
	8	カワウ
	9	コサギ
	10	オオバン
	11	イソシギ
	12	ユリカモメ
	13	セグロカモメ
	14	コアジサシ
	15	ツミ
	16	チョウゲンボウ
	17	モズ
	18	オナガ
	19	ハシボソガラス
	20	ハシブトガラス
	21	シジュウカラ
	22	ツバメ
	23	イワツバメ
	24	ヒヨドリ
	25	ウグイス
	26	メジロ
	27	ムクドリ
	28	ツグミ
	29	ジョウビタキ
	30	イソヒヨドリ

類	No.	確認された種
鳥類		
新中川	31	スズメ
	32	ハクセキレイ
	33	カワラヒワ
	34	アオジ
	35	オオジュリン
	36	アヒル
	37	カワラバト (ドバト)

荒川 東なぎさ	1	オカヨシガモ
	2	ヒドリガモ
	3	マガモ
	4	カルガモ
	5	ハシビロガモ
	6	オナガガモ
	7	コガモ
	8	ホシハジロ
	9	キンクロハジロ
	10	スズガモ
	11	クロガモ
	12	ウミアイサ
	13	カイツブリ
	14	カンムリカイツブリ
	15	ミミカイツブリ
	16	ハジロカイツブリ
	17	キジバト
	18	カワウ
	19	アオサギ
	20	ダイサギ
	21	コサギ
	22	クロツラヘラサギ

類	No.	確認された種
鳥類		
荒川 東なぎわ	23	オオバン
	24	コチドリ
	25	シロチドリ
	26	チュウシャクシギ
	27	ダイシャクシギ
	28	ホウロクシギ
	29	アオアシシギ
	30	キアシシギ
	31	イソシギ
	32	ミユビシギ
	33	ハマシギ
	34	ユリカモメ
	35	ウミネコ
	36	セグロカモメ
	37	オオセグロカモメ
	38	ミサゴ
	39	トビ
	40	コゲラ
	41	チョウゲンボウ
	42	モズ
	43	オナガ
	44	ハシボソガラス
	45	ハシブトガラス
	46	シジュウカラ
47	ヒバリ	
48	ツバメ	
49	ヒヨドリ	
50	メジロ	
51	オオヨシキリ	

類	No.	確認された種
鳥類		
荒川 東なぎわ	52	セッカ
	53	ムクドリ
	54	シロハラ
	55	アカハラ
	56	ツグミ
	57	ジョウビタキ
	58	イソヒヨドリ
	59	スズメ
	60	ハクセキレイ
	61	ビンズイ
	62	カワラヒワ
	63	ホオジロ
	64	アオジ
	65	オオジュリン
	66	カワラバト（ドバト）



(2) 親水緑道・公園で確認されたいきもの一覧

類	No.	確認された種	類	No.	確認された種
親水緑道でみられる生き物	1	コイ	親水緑道でみられる生き物	31	白メダカ
	2	モツゴ		32	ヒメダカ
	3	タモロコ		33	スズキ
	4	ギンブナ		34	ブルーギル
	5	ニゴイ		35	クロダイ
	6	オイカワ		36	ボラ
	7	ウグイ		37	コノシロ
	8	タイリクバラタナゴ		38	コチ
	9	ヤリタナゴ		39	ヒイラギ
	10	タナゴ		40	ギマ
	11	ハクレン		41	シマイサキ
	12	スゴモロコ		43	チャネルキャットフィッシュ
	13	キンギョ		44	カダヤシ
	14	マハゼ		45	プラティ
	15	チチブ		46	ミナミヌマエビ (カワリヌマエビ)
	16	ヌマチチブ		47	テナガエビ
	17	チチブ		48	スジエビ
	18	アベハゼ		49	ユビナガスジエビ
	19	ウロハゼ		50	シラタエビ
	20	シモフリシマハゼ		51	アメリカザリガニ
	21	ウキゴリ		52	クロベンケイガニ
	22	ビリンゴ		53	タカノケフサイソガニ
	23	アシシロハゼ		54	ヤマトシジミ
	24	スミウキゴリ		55	台湾シジミ
	25	ミミズハゼ		56	カワヒバリガイ
	26	ヒモハゼ		57	コウロエンカワヒバリガイ
	27	ヨシノボリ		58	ホトトギスガイ
	28	ニホンウナギ		59	ヒメタニシ
	29	ドジョウ		60	カワニナ
	30	メダカ		61	ヒメモノアラガイ

類	No.	確認された種
親水緑道でみられる生き物	62	マガキ
	63	フジツボ
	64	シオカラトンボ
	65	シマトビケラ
	66	アメンボ
	67	サホコカゲロウ
	68	コカゲロウ
	69	ユスリカ
	70	ハマトビムシ
	71	イトミミズ
	72	ミズミミズ
	73	ゴカイ
	74	シマイシビル
	75	イシビル
	76	ヒル
	77	ミジンコ
	78	ヨコエビ
	79	ニホンドロソコエビ
	80	ミズムシ
	81	コミズムシ
	82	アメリカナミウズムシ
	83	アメリカツノウズムシ
	84	ウズムシ
	85	コツブムシ
86	イソコツブムシ	
87	キタフナムシ	
88	ムロミスナウミナナフシ	
89	クーマ	
90	クサガメ	
91	ミシシッピアカミミガメ	

類	No.	確認された種
親水公園でみられる生き物	1	ボラ
	2	スジエビ
	3	ニホンイサザアミ
	4	タイワンシジミ
	5	ヒラアオノリシオグサ
	6	ミナミヌマエビ (カワリヌマエビ)
	7	コツブムシ
	8	カルガモ
	9	クーマ
	10	ユビナガスジエビ
	11	シラタエビ
	12	イトミミズ
	13	ヨコエビ
	14	モツゴ
	15	金魚
	16	コイ
	17	ドジョウ
	18	ヒメダカ
	19	ヤゴ
	20	ユスリカ
	21	アメリカザリガニ
	22	テナガエビ
	23	テッポウエビ
	24	スミウキゴリ
	25	シモフリシマハゼ
	26	チチブ
	27	マハゼ
	28	アシシロハゼ
	29	アベハゼ
	30	イシガニ

類	No.	確認された種
親水公園でみられる生き物	31	イシガニ
	32	イソコツブムシ
	33	ウメナシトモヤガイ
	34	ヤマトシジミ
	35	タカノケフサイソガニ
	36	ヤマトオサガニ
	37	コウロエンカワヒバリガイ
	38	カンザシゴカイ
	39	ヨーロッパフジツボ
	40	ホトトギスガイ
	41	ビリンゴ
	42	メバル





### (3) 植物

#### ① 江戸川・旧江戸川

河川: 江戸川			樹木	帰化	地区①			地区②			地区③			地区④			地区⑤			地区⑥			集計	東なぎさ													
目	科	種名			5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月			集計												
128																							139			141			149			133			147		
コケ植物門 苔綱																																					
	ゼニゴケ科	ゼニゴケ																					○														
シダ植物門 トクサ綱																																					
トクサ目	トクサ科	スギナ		○	○																		○														
シダ植物門 シダ綱																																					
シダ目	オンダ科	イヌワラビ																					○														
		オニヤブソテツ																					○														
		ホシダ																					○														
裸子植物門 ソテツ綱																																					
	イチヨウ科	イチヨウ																					○														
球果植物門 球果植物綱																																					
球果植物目	マツ科	クロマツ	○																				○														
被子植物門 双子葉植物綱 古生花被植物亜綱																																					
クルミ目	クルミ科	オニグルミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○														
ヤナギ目	ヤナギ科	アカメヤナギ			○	○		○	○														○														
		コリヤナギ	○			○			○														○														
		シダレヤナギ		○						○													○														
		ヤナギ			○	○				○	○												○														
イラクサ目	ニレ科	アキニレ	○							○	○												○														
		エノキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○												○														
		ケヤキ	○																				○														
		ニレ						○		○													○														
		ムクノキ	○	○	○	○	○	○	○	○													○														
		エノキ	○	○	○	○	○	○	○	○													○														
		カナムグラ				○		○															○														
		クワ	○	○	○	○	○	○	○	○													○														
		ヤマグワ	○	○	○	○	○	○	○	○													○														
タデ目	タデ科	アレチギシギシ	#	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○														
		イシミカワ								○	○												○														
		イタドリ						○	○														○														
		イヌタデ			○	○			○	○	○												○														
		エゾノギシギシ	#	○	○	○				○	○												○														
		オオイヌタデ								○													○														
		ギシギシ		○	○	○				○	○												○														
		サクラタデ								○													○														
		シロバナサクラタデ						○		○	○												○														
		スイバ		○		○				○													○														
		タデ								○													○														
		ナガバギシギシ	#							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○														
		ママコ/シリヌグイ						○	○														○														
		ミゾソバ										○	○	○									○														
		ミチヤナギ			○	○				○	○												○														
		ヤナギタデ								○	○												○														
アカザ目	ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	#								○												○														
	オシロイバナ科	オシロイバナ	#	○		○																	○														
	ハマミズナ科	ツルナ																					○														
	ナデシコ科	ウシオツメクサ	#		○	○				○													○														
		オランダミナグサ	#	○		○	○			○	○												○														
		シロバナマンテマ	#					○	○														○														
		ツメクサ			○	○				○													○														
		ノミノツツリ																					○														
		マンテマ	#																				○														
	アカザ科	アリアタソウ	#								○	○											○														
		ケアリタソウ	#					○	○														○														
		コアカザ	#					○	○														○														
		シロザ	#	○	○	○																	○														
		ホンバアカザ																					○														
河川: 江戸川																																					
目	科	種名	樹木	帰化	地区①			地区②			地区③			地区④			地区⑤			地区⑥			集計	東なぎさ													
アカザ目	ヒユ科	イノコズチ				○																	○														
		ヒナタイノコズチ				○	○			○	○												○														
		ホリアオゲイトウ	#								○	○											○														
		ホナガアオゲイトウ				○	○																○														
モクレン目	クスノキ科	クスノキ	○			○	○																○														
		タブノキ	○			○	○																○														
キンボウゲ目	キンボウゲ科	キツネノボタン						○	○						○	○							○														
		ケキツネノボタン						○	○						○	○							○														
		センニンソウ						○	○						○	○							○														
		タガラシ								○					○	○							○														
		ハイキンボウゲ													○	○							○														
	ツツラフジ科	アオツツラフジ									○												○														
	スイレ科	スイレン						○	○														○														
コショウ目	ドクダミ科	ドクダミ						○	○														○														
ケシ目	ケシ科	タケニグサ																					○														









河川：江戸川			樹木	帰化	地区①			地区②			地区③			地区④			地区⑤			地区⑥			集計	東なぎさ					
目	科	種名			5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月			5月	7月	10月		
イネ目	イネ科	カモジグサ		○		○			○					○			○			○			○		○				
		カラスムギ	#							○			○		○			○			○			○		○			
		キシュウスズメノヒエ	#								○	○		○		○		○			○					○			
		ギョウギシバ	#	○		○				○			○	○	○	○		○			○			○	○	○			
		キンエノコログサ			○	○		○	○		○	○		○	○		○	○		○	○		○	○		○	○		
		クサヨシ												○	○												○		
		コブナグサ													○	○											○		
		シナダレスズメガヤ	#																○	○	○						○		
		シバ													○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		シマスズメノヒエ	#		○	○		○	○		○	○		○	○		○	○		○	○	○					○	○	
		ジュズダマ	#	○	○	○																						○	
		ススキ			○	○														○	○		○	○				○	
		スズメノカタビラ		○	○		○	○		○	○		○	○		○	○		○	○	○		○	○				○	
		スズメノチャヒキ	#								○	○		○	○		○											○	
		スズメノヒエ	#	○		○		○			○	○		○	○		○					○	○					○	
		セイバンモロコシ	#	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○		○					○	○					○	
		セイヨウシバ	#		○	○		○	○																			○	
		タチスズメノヒエ	#												○	○												○	
		チガヤ		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		チカラシバ			○	○		○	○		○	○		○	○		○											○	
		ナガハグサ	#	○		○		○		○		○		○		○						○	○					○	
		ナギナタガヤ	#																	○	○							○	
		ネズミノオ										○		○		○							○	○				○	
		ネズミムギ	#	○		○	○	○		○		○		○						○	○	○	○					○	
		ヒエガエリ																				○	○					○	
		ヒメコバンソウ	#								○			○								○	○	○				○	
		ホソムギ	#								○	○		○	○		○					○	○					○	
		マコモ							○	○				○	○		○											○	
		ムラサキエノコログサ							○	○																		○	
		メヒシバ			○	○	○					○	○		○	○										○	○	○	
		メリケンカルカヤ	#																			○	○					○	
ホソネズミムギ																				○	○					○			
ヤシ目	ヤシ科	シュロ		○		○																				○			
		ヤシ			○	○																				○			
タコノキ目	ガマ科	コガマ					○	○																		○			
		ヒメガマ					○	○																		○			
カヤツリグサ目	カヤツリグサ科	アゼガヤツリ								○	○															○			
		アゼナルコスゲ												○		○										○			
		カヤツリグサ					○	○																		○			
		コウボウシバ		○		○				○	○															○			
		サンカクイ											○	○		○										○			
		テンツキ											○	○		○										○			
		ハマスゲ			○	○				○	○		○	○		○		○	○							○			
		ヒメクダ																						○	○	○			
		ミコシガヤ		○		○				○	○		○		○											○			
		メリケンガヤツリ	#												○	○										○			
ラン目	ラン科	ネジバナ																								○			

注) 樹木 : 木を表す。これ以外の植物は草本植物となる。  
 帰化 : 原産地から他地域に運ばれ、新しい環境に適応して存在・繁殖したもの

河川：江戸川			地区①			地区②			地区③			地区④			地区⑤			地区⑥			集計	東なぎさ	
種子植物門 被子植物亜門	双子葉綱 離弁花亜綱	科数	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月			
				種数	13	16	16	10	17	15	17	11	14	17	20	13	20	17	0	19	17	21	36
		種数	26	31	33	17	30	39	36	23	26	33	46	21	42	27	0	36	29	38	146	32	
	双子葉綱 合弁花亜綱	科数	5	9	7	8	9	6	8	6	7	9	7	5	11	6	2	6	9	9	15	8	
		種数	12	23	19	20	21	21	23	16	22	21	25	18	32	19	3	17	21	23	90	16	
	単子葉綱	科数	4	4	5	3	8	5	4	4	5	5	6	4	7	4	1	5	6	5	11	4	
		種数	13	13	19	11	16	17	15	13	20	21	28	16	22	18	4	23	17	20	83	8	
しだ植物門	とくさ綱	科数	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	
		種数	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	
	しだ綱	科数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0
		種数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	3	0

② 新中川

目	科	種名	樹木	帰化	地区①			地区②			地区③			地区④		
					5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月
シダ植物門 トクサ綱																
トクサ目	トクサ科	イヌドクサ			○			○	○	○						
		スギナ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
シダ綱																
ウラボシ目	オンダ科	イヌワラビ			○			○	○			○	○	○	○	
		オニヤブソテツ						○	○							
裸子植物門 イチョウ綱																
イチョウ目	イチョウ科	イチョウ	○		○											
被子植物門 双子葉植物綱 離弁花植物亜綱																
クルミ目	クルミ科	オニグルミ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
ヤナギ目	ヤナギ科	アカメヤナギ	○										○			
ブナ目	ブナ科	クヌギ	○											○	○	
		マテバシイ	○		○	○			○						○	
イラクサ目	ニレ科	アキニレ	○		○	○	○	○	○	○					○	
		エノキ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ケヤキ	○		○	○									○	
		ムクノキ	○				○					○	○		○	
		イテジク	○		○										○	
		コウゾ	○							○				○	○	
	クワ科	クワ	○		○	○	○	○		○	○				○	
		ヤマグワ	○		○	○	○	○		○	○				○	
		イラクサ科	カラムシ												○	
		タデ目	タデ科	アレチギシギシ		#	○	○		○	○			○		○
				イシミカフ									○	○	○	
				イタドリ			○	○	○		○	○				○
イヌタデ					○	○		○	○	○	○	○	○	○		
エゾノギシギシ				#	○	○	○		○	○		○	○	○		
オオイヌタデ							○						○			
オオケタデ				#		○	○									
ギシギシ					○	○		○	○	○	○			○	○	
コギシギシ					○						○					
シロバナサクラタデ													○		○	
スイバ															○	
ナガバギシギシ				#				○	○						○	
ショウガ目	カンナ科	カンナ		#	○	○	○									
アカザ目	ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ		#					○			○				
		オシロイバナ科	オシロイバナ		#		○	○	○		○	○		○		
		スベリヒユ科	スベリヒユ				○					○				
	ナデシコ科	ハゼラン									○	○	○		○	
		ウシオツメクサ							○		○			○	○	
		オランダミナグサ		#	○				○		○			○		
		シロバナマンテマ									○			○		
		ツメクサ			○	○			○	○				○		
		ノミノツヅリ			○				○					○		
		ハコベ			○									○		
	アカザ科	アリタソウ		#	○	○	○			○	○	○				
		シロザ		#	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	ヒユ科	イヌビユ		#					○	○		○		○		
		イノコズチ							○	○		○		○		
		ヒナタイノコズチ			○	○			○	○		○		○		
	ユキノシタ目	アリノトウグサ科	オオフサモ		#				○							
	モクレン目	ユキノシタ科	ウツギ	○							○					
			クスノキ科	クスノキ	○				○	○	○			○	○	
		タブノキ	○				○	○	○	○						
モクレン科		コブシ	○			○										
キンポウゲ科		ケキツネノボタン							○	○		○				
		センニンソウ				○	○						○	○		
		タガラシ				○										
メギ		ナンテン	○							○	○	○				
アケビ科		アケビ							○		○					
		ミツバアケビ							○							
		アオツツラフジ				○	○	○	○	○	○			○		
コショウ目		ドクダミ科	ドクダミ			○	○		○	○	○	○	○	○		
オトギリソウ目	ツバキ科	ハマヒサカキ	○													
ケシ目	ケシ科	タケニグサ						○	○					○		
		ナガミヒナゲシ		#	○			○	○		○	○		○		
	アブラナ科	イヌガラシ				○	○		○		○		○	○		
		スカンタゴボウ						○			○					
		セイヨウアブラナ		#	○											
		タネツケバナ			○						○					
		ナズナ					○				○		○			
		ホソエガラシ											○	○		
マメグンバイナズナ		#	○	○			○	○	○	○	○	○				



河川: 新中川					地区①			地区②			地区③			地区④			
目	科	種名	樹木	帰化	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	
バラ目	ベンケイソウ科	コモチマンネングサ			○			○			○			○			
		ツルマンネングサ						○									
	バラ科	オオシマザクラ	○		○			○			○						
		オキジムシロ		#					○					○		○	
		カジイチゴ	○								○						
		サクラ	○		○	○	○	○		○	○			○			○
		シャリンバイ	○		○		○							○			○
		ソメイヨシノ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
		ナワシロイチゴ	○		○	○	○	○	○						○	○	
		ノイバラ	○												○		
		ピラカンサ	○				○	○		○	○	○	○				
		ビワ	○						○	○	○						○
		ヘビイチゴ										○					
	ヤマブキ										○						
	マメ科	アカツメクサ		#	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
		アレチヌスビトハギ		#		○	○		○	○	○	○	○		○		
		カラスノエンドウ			○						○				○		○
		クサネム				○	○					○					○
		クズ			○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
		クスダマツメクサ		#					○	○	○	○				○	
		コメツブツメクサ		#	○				○	○		○				○	○
		セッカツメクサ		#					○	○							○
		シロツメクサ		#	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		スズメノエンドウ									○						
		ツルマメ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
		ナヨクサフジ															○
	ネムノキ	○			○	○					○						
	ハリエンジュ	○	#		○												
	フジ	○			○	○	○		○								
	メドハギ				○						○	○	○				
	フウロソウ目	カタバミ科	アカカタバミ			○		○	○			○		○	○		
			イモカタバミ		#	○	○	○				○	○	○	○		○
			ウスアカカタバミ			○	○			○		○	○	○		○	
オッタチカタバミ				#	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
カタバミ					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ハナカタバミ				#													○
ムラサキカタバミ				#	○	○						○				○	
フウロソウ科		アメリカフウロ		#	○			○			○				○		
トウダイグサ科		アカメガシワ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		アレチニシキソウ		#											○		
		エノキグサ				○								○	○	○	○
	オオニシキソウ		#					○									
	コニシキソウ		#		○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	
ナガエコミカンソウ		#							○		○						
ミカン目	センダン科	センダン	○		○	○	○				○	○	○				
ムクロジ目	ウルシ科	ハゼノキ	○							○					○	○	
	ミカン科	ユズ	○							○							
	ムクロジ科	フウセンカズラ		#									○				
ニシキギ目	ニシキギ科	オニツルウメモドキ	○		○		○	○	○								
クロウメモドキ目	ブドウ科	エビヅル			○												
		ツタ			○							○	○	○			
		ノブドウ				○		○									
		ヤブガラシ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		アオイ目	アオイ科	フヨウ	○		○	○									
	アオギリ科	アオギリ	○	#	○	○					○	○	○				
スマレ目	スマレ科	スマレ									○	○					
ウリ目	ウリ科	アレチウリ		#	○	○	○			○	○	○	○				
		カラスウリ			○	○		○	○	○				○	○		
		キカラスウリ								○					○		
		ゴキヅル				○											
フトモモ目	アカバナ科	アカバナユウゲショウ		#	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		コマツヨイグサ		#	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ヒルザキツクミソウ		#	○	○										○	
		マツヨイグサ		#	○	○											
		メマツヨイグサ		#	○				○	○	○	○	○	○	○	○	
セリ目	ウコギ科	キヅタ									○						
	セリ科	チドメグサ									○						
		ノチドメ				○	○										
		マツバゼリ		#		○											

被子植物門 双子葉植物綱 合弁花植物亜綱					地点①			地点②			地点③			地点④				
河川:新中川					5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月		
目	科	種名	樹木	帰化														
モクセイ目	モクセイ科	シマトネリコ	○			○	○											
		トウネズミモチ	○	#	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○	
リンドウ目	キョウチクトウ科	キョウチクトウ	○		○	○	○											
	ガガイモ科	ガガイモ			○	○	○											
	アカネ科	ヘクソカズラ			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		メリケンムグラ		#												○	○	
ヤエムグラ				○						○								
シソ目	ヒルガオ科	アサガオ		#		○	○							○		○		
		コヒルガオ			○	○	○	○	○	○	○				○		○	
		セイヨウアサガオ		#											○			
		ヒルガオ			○	○		○	○						○	○	○	
		ホシアサガオ		#											○	○		
		マメアサガオ		#		○					○				○	○		
		マルバルコウ		#											○	○		
	ムラサキ科	キュウリグサ				○					○				○	○		
		クマツヅラ科	アレチハナガサ		#	○	○											
			クサギ		○							○	○	○	○	○	○	○
	ボタンクサギ			○							○					○		
		ランタナ		○		○					○							
	シソ科	イヌコウジュ					○											
		カキドオシ					○											
		シロネ				○	○	○				○	○	○				
		ホトケノザ								○		○						
		マルバハッカ		#							○		○	○			○	
		イヌホオズキ		#		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ナス科	クコ		○												○		
		ワルナスビ		#		○			○		○				○	○	○	
	ゴマノハグサ科	オオイヌフグリ		#	○				○	○		○						
		キリ		○		○									○	○	○	
		タチイヌフグリ		#	○				○		○				○			
		ツタバウンラン		#	○				○	○	○							
		トキワハゼ			○				○		○	○	○	○	○	○		
		マツバウンラン		#								○			○			
	ムシクサ									○	○							
ハマウツボ科	ヤセウツボ		#	○				○						○				
オオバコ目	オオバコ科	オオバコ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		ヘラオオバコ		#	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
キキョウ目	キキョウ科	キキョウソウ			○													
		ヒナキキョウソウ						○		○					○			
	キク科	アメリカオニアザミ		#											○			
		アメリカセンダングサ		#	○	○	○								○	○		
		アメリカカタカサプロウ													○	○		
		アレチノギク		#	○	○			○	○		○	○			○	○	
		イガオナモミ		#		○												
		ウラジロチチヨグサ		#	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		オオアレチノギク		#	○			○	○	○	○	○			○	○	○	
		オオジシバリ			○				○							○		
		オオブタクサ		#	○	○	○					○	○	○				
		オニノゲシ		#	○				○							○		
		クイモ		#	○	○	○					○	○					
		コセンダングサ		#	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	
		セイタカアワダチソウ		#	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		セイヨウタンポポ		#	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		チチヨグサモドキ		#					○			○				○	○	
		ノゲシ		#	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ノジギク					○									○		
		ノボロギク		#		○			○	○						○		
		ハキダメギク		#		○	○						○	○			○	
		ハハコグサ				○							○					
		ハルジオン		#	○	○	○	○					○		○	○	○	
		ヒメジョオン		#	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ヒメムカシヨモギ		#	○	○	○			○	○				○		○	
		フキ						○	○									
		ブタナ		#					○							○	○	
		ホソバノチチヨグサモドキ							○								○	
		マメカミツレ		#		○			○									
		メリケンキンソウ		#	○	○			○							○	○	
		ヨモギ				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

河川: 新中川					地区①			地区②			地区③			地区④			
目	科	種名	樹木	帰化	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	
被子植物門 単子葉植物綱																	
ユリ目	ユリ科	アスパラガス														○	
		ツルボ												○			
		ニラ								○				○			○
		ノビル														○	
		ハタケニラ		#				○							○		
		ヤブカンゾウ				○											
	ヤマノイモ科	オニドコロ									○				○	○	
		ナガイモ			○		○	○	○				○	○		○	
		ニガカシュウ				○	○			○							
		ヤマノイモ				○	○		○	○					○	○	○
	アヤメ科	オオニワゼキショウ		#				○			○				○	○	
		ニワゼキショウ		#	○			○	○			○	○		○	○	
		セツカニワゼキショウ		#	○							○			○	○	
	ヒガンバナ科	タマダレ		#			○				○				○		○
ヒガンバナ					○											○	
イグサ目	イグサ科	クサイ				○		○	○					○	○	○	
		コゴメイ		#								○	○				
ツユクサ目	ツユクサ科	ツユクサ			○	○	○		○			○	○	○	○	○	
		トキワツユクサ		#	○			○									
イネ目	イネ科	アオカモジグサ							○			○			○	○	
		アキノエノコログサ												○			
		アキメヒシバ													○		
		アズマネザサ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		イヌビエ					○								○		○
		イヌムギ		#	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		エノコログサ				○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		オオスズメノカタビラ			○			○			○				○		○
		オキ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		オニウシノケグサ		#	○	○		○	○						○		○
		オヒシバ				○	○		○				○	○		○	○
		カゼクサ									○			○			○
		カナリークサヨシ										○					
		カモジグサ			○							○			○	○	○
		カラスムギ			○											○	
		キシウスズメノヒエ		#		○											
		ギョウギシバ		#	○	○	○		○			○	○	○	○	○	○
		キンエノコログサ					○				○				○		○
		クサヨシ			○							○					
		コツブキンエノコロ					○				○				○		
		コバンソウ							○								
		コメヒシバ					○	○			○				○	○	○
		シナダレスズメガヤ		#	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		シバ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		シマズメノヒエ		#	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ジュズダマ						○									
		ススキ														○	○
		スズメノカタビラ			○	○			○	○		○	○			○	○
		スズメノテッポウ										○					
		スズメノヤリ			○												
		セイバンモロコシ		#	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		チガヤ			○			○			○						
		チカラシバ					○										○
		ツルヨシ			○												
		ナガハグサ			○							○				○	
		ニワホコリ					○					○			○		○
		ネズミムギ			○	○			○	○		○				○	○
		ハルガヤ			○				○			○				○	
		ヒエガエリ														○	
		ヒメコバンソウ			○				○			○				○	
		ホソムギ			○	○			○	○		○	○			○	○
		メヒシバ				○	○		○	○		○	○			○	○
		ヨシ			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サトイモ目	サトイモ科	アオウキクサ				○											
		カラスビシャク					○										
タコノキ目	ガマ科	ヒメガマ				○	○					○	○				
カヤツリグサ目	カヤツリグサ科	カヤツリグサ					○							○			
		コウキヤガラ			○	○											
		コゴメガヤツリ												○		○	
		ハマスゲ				○			○	○	○	○	○	○	○	○	
		ヒメクダ												○		○	
		ミコシガヤ										○					
		メリケンガヤツリ		#								○					

注) 樹本 : 木を表す。これ以外の植物は草本植物となる。  
 帰化 : 原産地から他地域に運ばれ、新しい環境に適応して存在・繁殖したもの。

河川:新中川			地区①			地区②			地区③			地区④		
			5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月
種子植物門 被子植物亞門	双子葉綱 離弁花亞綱	科数	25	26	20	25	22	22	25	24	25	22	17	21
		種数	64	58	40	59	50	40	62	47	52	47	36	44
	双子葉綱 合弁花亞綱	科数	12	13	8	11	7	9	11	9	10	11	7	8
		種数	34	37	22	35	21	21	34	27	35	29	28	22
	単子葉綱	科数	5	8	6	6	6	7	3	7	8	6	6	7
		種数	28	26	24	23	24	23	25	20	29	31	27	28
種子植物門 裸子植物亞門	イチョウ綱	科数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		種数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
しだ植物門	とくさ綱	科数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		種数	2	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1
	しだ綱	科数	1	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	1
		種数	1	1	0	2	2	0	0	0	1	1	0	1



### ③ 荒川 東なぎさ

河川: 荒川			樹木	稀化	地区①			地区②			地区③			地区④			地区⑤			地区⑥			地区⑦			地区⑧			集計	東なぎさ
目	科	種名			5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月		
<b>シダ植物門 トクサ綱</b>																														
トクサ目	トクサ科	スギナ				○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
<b>シダ植物門 シダ綱</b>																														
シダ目	オンダ科	イヌワラビ																		○							○			
<b>裸子植物門 球果植物綱</b>																														
球果植物目	マツ科	クロマツ																									○			
<b>被子植物門 双子葉植物綱 古生花被植物亜綱</b>																														
クルミ目	クルミ科	オニグルミ	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○												○	○	○		
ヤナギ目	ヤナギ科	アカメヤナギ											○							○							○			
		コリヤナギ	○								○	○								○								○		
		シダレヤナギ				○															○	○						○		
		ネコヤナギ						○																				○		
ブナ目	ブナ科	ヤナギ						○					○							○							○			
		クヌギ	○			○															○	○	○					○		
		シラカシ																				○	○					○		
イラクサ目	ニレ科	マテバシイ	○																		○	○					○			
		アキノレ	○	○		○															○	○					○			
		エノキ	○	○	○	○	○					○		○	○	○	○										○			
	ムクノキ	○				○															○						○			
クワ科	クワ	○																									○			
	クワクサ					○																					○			
タデ目	タデ科	ヤマグワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○	○	○			
		アレチギンギシ	#	○	○				○				○								○	○						○		
		イタドリ		○		○																						○		
		イヌタデ				○																○						○		
		エゾノギンギシ	#	○		○	○	○						○							○							○		
		オオイヌタデ																				○						○		
		ギンギシ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		スイバ																				○						○		
		ソバ	#																									○		
		ナガバギシ	#	○			○															○	○					○		
		ママコノシリヌグイ																				○	○					○		
		ミスヒキ						○																				○		
		ミチヤナギ			○	○								○														○		
アカザ目	オンロイバナ科	オンロイバナ	#	○	○																					○				
		ナデシコ科	ウシオツメクサ	#	○					○											○						○			
	アカザ科	オランダミミナグサ	#	○					○												○						○			
		ツメクサ		○	○																						○			
		ミノツツリ																									○			
		ミノフスマ																						○			○			
		マンテマ	#																								○			
		ミドリハコベ																									○			
		ホコガタアカザ							○																		○			
		アカザ	#																								○			
		コアカザ	#																								○			
シロザ	#			○						○	○			○	○	○	○								○					
ハマアカザ																									○					
ヒユ科	イノコズチ			○	○	○	○		○	○				○	○										○					
モクレン目	クスノキ科	ヒナタイノコズチ																								○				
		クスノキ	○					○		○	○				○											○				
キンポウゲ目	キンポウゲ科	タブノキ	○			○	○																			○				
		キツネノボタン																									○			
		ケキツネノボタン									○	○	○	○	○							○	○	○			○			
	アケビ科	センニンソウ				○	○				○																○			
		アケビ																									○			
ミツバアケビ						○																			○					
コショウ目	ドクダミ科	ドクダミ																								○				
オトギリソウ目	ツバキ科	ハマヒサカキ	○		○																					○				
ケシ目	アブラナ科	イヌカキネガラシ	#																							○				
		イヌガラシ	#																								○			
		キレハイヌガラシ	#																								○			
		セイヨウアブラナ	#				○																				○			
		セイヨウカラシナ	#																								○			
		ナズナ					○																				○			
		ハマダイコン																									○			
		マメゲンバイナズナ	#		○	○	○																				○			
バラ目	ベンケイソウ科	コゴメマンネングサ																									○			
		コモチマンネングサ																									○			
		タイトゴメ																									○			
		メノマンネングサ																									○			
	ユキノシタ科	タコノアシ																								○				











### 3. 用語集

	用語	解説
あ 行	アダプト制度	地域住民や企業、団体が、区の管理している道路や公園などの花壇や植樹帯の管理、清掃などを通じ、環境美化活動を行う制度のこと。
	雨庭	降った雨水を土の中にため、ゆっくりと地中に浸透させる構造を持った植栽空間のこと。
	インクルーシブ	「包み込むような、包摂的な」という意味。英語で「除外 (Exclude)」の対義語である「Include (含める)」が語源で、誰も排除しない社会を目指す考え方。
	ウェルカム ガーデナー	公益財団法人えどがわ環境財団が開催するウェルカム・ガーデナー養成講座で集まったボランティアメンバーのことで、江戸川区役所本庁舎前庭や総合文化センター等の区を代表する施設の花植え等を行っている。
	ウォーカブル	「歩く」を意味する「walk」と「できる」の「able」を組み合わせた造語で、文字通り「歩きやすい」「歩きたくなる」「歩くのが楽しい」といった語感を持つ。
	エコロジカル ネットワーク	緑地や公園など、生物が生息・生育する空間が、適切に配置され、生態系として有機的につながるネットワークのこと。
	江戸川区街路樹 指針「新しい街 路樹デザイン」	学識経験者、区民委員、行政委員の構成された「街路樹のあり方検討委員会」の答申を基に、街路樹の計画・設計や管理方針を示すために平成 21 年に策定された指針のこと。
	江戸川区 気候変動適応 計画	区民生活や事業活動における気候変動に起因する災害や熱中症等の影響の回避・軽減（適応策）と、地球温暖化の原因となる温室効果ガス排出量の削減（緩和策）等、江戸川区における脱炭素への対策の全てを対象とし、令和 4 年に策定された地域気候変動適応計画のこと。
	江戸川区 景観計画	「わがまちに誇りの持てる景観」を育成するとともに「将来に夢を持てる計画」としてだれもが共有できる景観まちづくりを目指した計画のこと。平成 23 年に策定、令和 5 年に改定されている。
	江戸川区 公園施設 長寿命化計画	子どもや障害者、高齢者をはじめとした全ての利用者が安全、安心して公園を利用できるよう、今後予想される既存施設の老朽化に対する安全対策の強化、補修、更新の費用を平準化させ、維持管理経費の縮減を図るため作成された計画のこと。
	江戸川区 住宅等整備事業 における基準等 に関する条例	中高層共同住宅の開発や一定規模以上の宅地開発にあたって土地利用や緑化の基準などを定めたもの。
	江戸川区 都市計画 マスタープラン	都市計画法第 18 条の 2 における「市町村の都市計画に関する基本的な方針」であり、「江戸川区基本構想・基本計画」に即したまちづくりの総合的な指針としての役割を担う計画のこと。
	江戸川区 水と緑の 行動指針	「豊かな水と緑の快適環境都市」を具体的に推し進め、区民と区が一体となって「水と緑のまちづくり」を進めていくためのガイドラインとして平成 14 年に策定された行動指針のこと。
	江戸川区立公園 等移動円滑化 条例	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の規定により、移動等の円滑化の促進のために必要な区立の都市公園における特定公園施設の設置に関する基準を定めた条例。
延焼遮断帯	市街地の延焼を阻止するため、道路、河川、公園、鉄道などと、それらの沿線に建つ不燃化された建築物により形成される帯状の不燃空間のこと。	
オープン スペース	都市計画で、心理的な潤いを人々にもたらし、また防災上の役割を負う永続的な空地(くうち)。	
か 行	カーボン・ マイナス	排出される温室効果ガスよりも、植物などによって吸収される温室効果ガスの量が多い状態を指す言葉。現在は植樹活動や再生可能エネルギーの利用などが主な取り組みとして行われている。

	用語	解説
か 行	クラウド ファンディング	プロジェクトを立ち上げた人や法人に対し、不特定多数の人が、購入・寄付・金融といった形態で資金を供与する仕組みのこと。
	グリーン アドベンチャー	楽しみながら樹木の知識を学び、みどりに親しむことを目的として、江戸川区内の公園や緑道に設置されている設問パネル形式の自然学習ツールのこと。
	グリーンインフラ	社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組のこと。また、防災・減災、自然環境の保全、地域振興等の多様な地域課題の同時解決を図ることができる取組として注目されている。
	コンポスト	有機物を分解して肥料にするためのプロセス、またはその肥料そのもの。一般的に、野菜や果物のくず、草、葉、紙などの有機物を通気性のある容器に入れ、湿度を管理し、適度にかき混ぜることで、数週間から数か月で堆肥を作り出すことができる。
	高規格堤防	超過洪水対策を目的とし、現在の堤防から市街地側に概ね 200～300メートル（堤防の高さの約 30 倍）にわたって盛土を行った幅の広い堤防のこと。
	耕地整理事業	耕地整理法（昭和 24 年廃止）に基づくもので、農地の生産力向上のために、土地の区画の整理や道路、かんがい排水の整備などを行う事業のこと。
さ 行	市街地 再開発事業	不足している道路・公園などの公共施設を計画的に整備するとともに、良好な生活環境を備えた都市型住宅の供給や、業務施設の近代化を図るなど、安全かつ快適な生活空間を創出する総合的なまちづくりを行う事業。
	循環型社会	有限である資源を効率的、循環的（リサイクルなど）に、持続可能な形で利用していく社会のこと。
	親水公園	比較的川幅のある水路を広域的な水辺の空間として整備した施設のこと。水質に配慮して子どもたちがより安全に遊べるよう配慮したり、遊具を設置するなど公園的なものとしている。
	親水緑道	生活道路のかたわらに幅 1mほどの小川が流れる歩行空間のこと。
	スーパー堤防	東京都の事業。耐震対策と親水性の向上を目的とし、現在の堤防を最大 50m 盛土した幅の広い堤防のこと。
	ストック効果	整備された施設が供用されることで、その地域の生産性を向上させる効果や、安全性や快適性を高め、衛生環境を改善するなど生活の質を向上させる効果を長期的に生み出すこと。
	生産緑地	良好な都市空間の形成を図るために指定される農地で、農地としての管理が義務付けられるが、税制上の優遇措置がある。
	生物情報アプリ 「バイオーム」	写真を撮った季節と場所から生物の種を判定することができるアプリ。国内ほぼ全種に対応した図鑑・いきもの名前判定 AI を搭載している。
	生物多様性	生物たちの豊かな個性とつながりのこと。 生物多様性の国際条約である「生物多様性条約」では、生物多様性には、「生態系の多様性」「種の多様性」「遺伝子の多様性」という 3 つのレベルで多様性があるとしている。
	生物多様性 基本法	生物多様性の保全と持続可能な利用に関する施策を総合的・計画的に推進することで、豊かな生物多様性を保全し、その恵みを将来にわたり享受できる自然と共生する社会を実現することを目的としており、平成 20(2008)年 5 月に成立し、同年 6 月に施行された法律。
	生物多様性 国家戦略	生物多様性条約及び生物多様性基本法に基づく、生物多様性の保全と持続可能な利用に関する国の基本的な計画。平成 7(1995)年に最初の生物多様性国家戦略を策定し、これまで 5 回の見直しを行っている。
	生物多様性損失	地球上の生物の多様性が、自然環境の悪化に伴い、これまでにない早さで刻一刻と失われつつある今の状況のこと。
ゼロエミッシ ョンパーク	「カーボン・マイナス都市」の実現に向けた取組の一つとして、温室効果ガスの排出量実質ゼロと災害対策機能を兼ね備えた脱炭素の公園。	

	用語	解説
た 行	大規模救出救助活動拠点	自衛隊や警察、消防などの広域支援・救助部隊が、被災者の救出・救助活動を行うための拠点となる施設。
	宅地化農地	生産緑地以外の農地のこと。生産緑地のような営農継続の義務はないが、宅地並みの固定資産税が課される。
	多自然型護岸	従来のコンクリートブロックで固めるだけの護岸工事とは異なり、治水上の安全を確保しつつ植物の良好な育成環境に配慮した水と緑豊かな護岸のこと。
	脱炭素社会	地球温暖化、気候変動の原因となる温室効果ガスのうち、最も排出量の多い二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )について、実質的な排出量ゼロを達成している社会のこと。
	透水性舗装	雨水を地盤にしみこませる機能を持ち、ヒートアイランド対策や洪水対策などの都市環境改善に期待が寄せられている舗装構造のこと。
	特定外来生物	外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定される。指定された生物の取り扱いについては、輸入、放出、飼養、譲渡等の禁止といった厳しい規制がかかる。
	特定生産緑地	特定生産緑地は、生産緑地の指定から 30 年を経過する前に、所有者などの意向を基に、期間を 10 年延長する制度で、税制上の優遇措置を受けることができる。
	都市計画公園	公園・緑地として必要な区域を明確化して、長期的な視点から計画的な整備を進めるため、都市計画に定める公園のこと。
	都市公園法	都市公園の設置及び管理に関する基準等を定めて、都市公園の健全な発達を図り、公共の福祉の増進に資することを目的として制定された法律。
	都市公園法運用指針	都市公園法第 31 条に規定する国による都市公園の行政又は技術に関する助言の一環。都市公園制度の趣旨や意図、法の円滑かつ適切な運用を図るに当たって望ましい運用のあり方やその際の留意事項等について原則的な考え方を示すことで、地方公共団体や地方整備局が都市公園の整備及び管理を行う際の参考に資することを目的として作成したもの。
	都市づくりのランドデザイン	2040 年代の目指すべき東京の都市の姿とその実現に向けた、都市づくりの基本的な方針と具体的な方策を示したもの。
	都市農地貸借円滑化法	市街化区域内の農地のうち、生産緑地の貸借が安心して行える仕組み。
	都市緑地法	良好な都市環境の形成を図り、もって健康で文化的な都市生活の確保に寄与することを目的として、都市における緑地の保全及び緑化の推進に関し必要な事項を定めた法律。
	土地区画整理事業	土地区画整理法に基づき、道路、公園、河川などの公共施設の整備・改善及び宅地の利用の増進を図るため、土地の区画形質の変更や公共施設の整備を行う事業。
な 行	ネイチャーポジティブ	生物多様性の損失を止め、回復軌道に乗せること。
は 行	バイオネスト	植物発生材処理の経費を抑えること、植物発生材を資源として活用することを目的としたサステナブルな堆肥づくり。管理作業で発生した剪定枝や、腕の太さ程度の樹木の幹などの植物発生材を組み合わせ、まるで鳥の巣のような形状となることから「バイオ (bio) =生命」、「ネスト (nest) =巣」と呼ばれている。
	パートナーシップ	まちづくりを担う市民等の複数の主体が、対等な立場で協力・連携し、役割や責任を自覚することを通じて築いていく相互の信頼関係のこと。
	ヒートアイランド現象	都市部の気温が郊外に比べ高くなる現象のこと。
	ビオトープ	生き物 (Bio) が生息活動をする場所 (Top) という意味のドイツの造語。
	ピクトサイン	情報や注意を示すために表示される視覚記号 (マーク) のこと。



	用語	解説
は行	ポケットパーク	道路整備や交差点の改良によって生まれたスペースに、ベンチを置くなどして作った小さな公園。
	保護樹	保護樹、保護樹木とは、区内の貴重な緑を保護、育成していくため区が指定した樹木・樹林のこと。
ま行	密集住宅市街地整備促進事業	老朽化した木造住宅が密集した地域において、新たな道路・公園の整備、老朽住宅の建替え支援などを行う取り組みのこと。
	みどりのカーテン	ツル性の植物による壁面緑化で、夏の強い日差しを和らげ、葉の蒸散作用により周辺温度を下げることで室温の上昇を抑える。
	みどり率	特定区域の面積に対して樹林地、草地、宅地内の緑(屋上緑地を含む)、公園、街路樹、河川、水路等が占める面積の割合を示したもの。緑被率に「公園内の緑で覆われていない面積の割合」と「河川等の水面が占める割合」を加えたものがみどり率。
	みんなのこうえんプロジェクト	地域の皆さんにとって身近な公園が「地域の庭」のようになってほしいという思いから、はじめた江戸川区の取り組み。
や行	屋敷林	屋敷の周囲に設置された林。屋敷森とも呼ばれる家屋の一方向または複数方向に配列された樹木群。台風、季節風、地方風などの風のエネルギーを低減させて、集落や家屋を保護する手段として活用されている。
	ユニバーサルデザイン	年齢、性別、国籍、障害や能力の違いなどにかかわらず、誰もが使いやすい仕様や設計のこと。
	予防保全型管理	インフラの管理手法の一つとして、更新時期の平準化と総事業費の削減を図るために、損傷や劣化が進行する前に適切な対策を行う管理手法。
ら行	ラムサール条約湿地	「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約(ラムサール条約)」の締約国は、自国の湿地を条約で定められた国際的な基準に従って指定し、条約事務局が管理する「国際的に重要な湿地に係る登録簿」に掲載された湿地のこと。
	緑被率	特定区域の面積に対して緑被地が占める面積の割合を示したものであり、平面的な緑の量を把握するための指標となります。緑被地とは、樹木や芝生等で覆われた土地のことで、樹木被覆地、草地、屋上緑地をあわせたもの。

	用語	解説
英数字	2030年の江戸川区(SDGsビジョン)	江戸川区が目指す「ともに生きるまち(共生社会)」の考え方がSDGsの「誰一人取り残さない」という考え方と同じことから、2030年までに行う取り組みとして、SDGs17の目標ごとに整理しまとめたもの。
	2100年の江戸川区(共生社会ビジョン)	区が目指す2100年の「明るい未来」について「広報えどがわ」「区ホームページ」「オンラインミーティング」「ワークショップ」などで広く意見募集や話し合いの場を設け、ともに生きるまちを目指す条例を制定している。
	30by30目標	2030年までに陸と海の30%以上を保全する目標
	DB(デザインビルド)事業	民間事業者が公共施設等を設計・建設し、公共側に施設の所有権を移転する手法。
	Park-PFI	平成29(2017)年の都市公園法改正により新たに設けられた、飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する「公募設置管理制度」のこと。
SDGs	「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。平成27(2015)年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられた。令和12(2030)年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されている。	



## 緑被率・みどり率

緑被率は、特定区域の面積に対して緑被地が占める面積の割合を示したものであり、平面的な緑の量を把握するための指標となります。緑被地とは、樹木や芝生等で覆われた土地のことで、樹木被覆地、草地、屋上緑地をあわせたものです。

みどり率は、特定区域の面積に対して樹林地、草地、宅地内の緑(屋上緑地を含む)、公園、街路樹、河川、水路等が占める面積の割合を示したものです。緑被率に「公園内の緑で覆われていない面積の割合」と「河川等の水面が占める割合」を加えたものがみどり率となります。

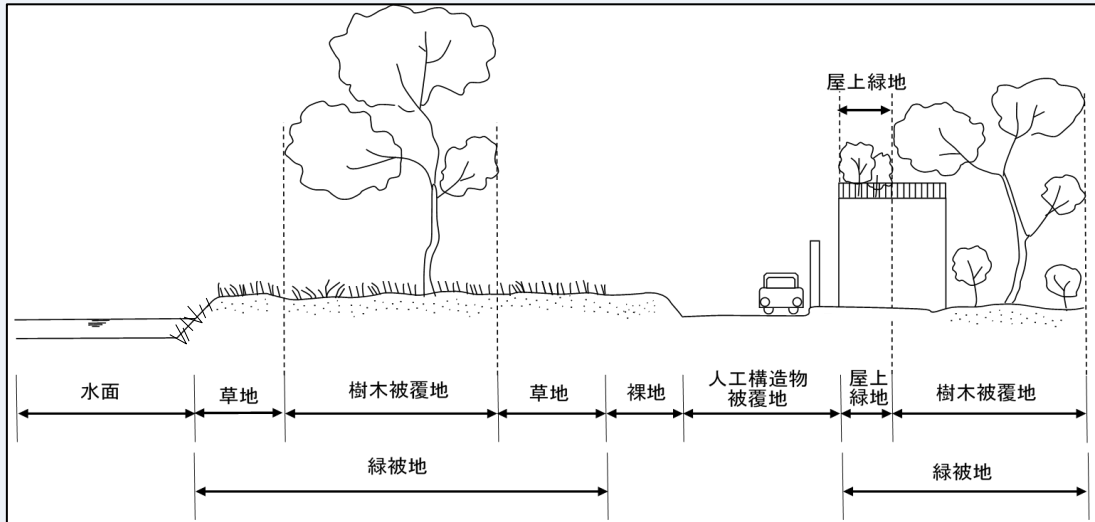


図 緑被地等の概況

表 緑被地等の分類

樹木被覆地	樹木、樹林に覆われた土地。樹冠投影部分
草地	草本類に覆われた土地
裸地	人工構造物や樹木等で被覆されておらず、土壌が露出している土地
水面	河川や湖沼(プールは除く)の水部
屋上緑地	建物の屋上部や人工地盤上にある樹木または草地

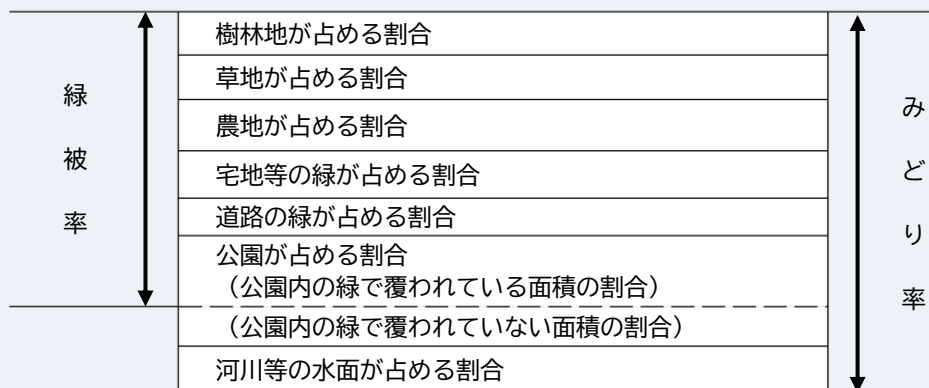


図 緑被率とみどり率の関係

出典：「緑の東京計画」(平成12(2000)年12月(東京都))



## 江戸川区みどりの基本計画

水・みどり・農、ともに生きる豊かな暮らし  
～ えどがわecologicalプラン ～



発行日 令和6年4月  
編集・発行 江戸川区環境部水とみどりの課  
〒132-8501 江戸川区中央1-4-1  
03-3652-1151(代表)  
<https://www.city.edogawa.tokyo.jp>

